

<資料>

国内経済の概況

【経済情勢に関する報告】

○経済・物価情勢の展望 2024年4月（4月30日、日本銀行）

- ・ わが国の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。海外経済は、回復ペースが鈍化している。そうした影響を受けつつも、輸出は横ばい圏内の動きとなっている。企業収益は改善しており、業況感は良好な水準を維持している。こうしたもとで、設備投資は緩やかな増加傾向にある。雇用・所得環境は緩やかに改善している。個人消費は、物価上昇の影響に加え、一部メーカーの出荷停止による自動車販売の減少などがみられるものの、底堅く推移している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。
- ・ 先行きのわが国経済を展望すると、海外経済が緩やかに成長していくもとで、緩和的な金融環境などを背景に、所得から支出への前向きの循環メカニズムが徐々に強まることから、潜在成長率を上回る成長を続けると考えられる。家計部門をみると、雇用は増加を続けるが、これまで女性や高齢者の労働参加が相応に進んできたなかで、追加的な労働供給が見込みにくくなるため、その増加ペースは徐々に緩やかになっていくと考えられる。もっとも、このことは、景気回復の過程で、労働需給の引き締まりを強める方向に作用する。そのもとで、賃金上昇率は、物価上昇も反映する形で基調的に高まっていくとみられ、雇用者所得は増加を続けると予想される。こうしたもとで、個人消費は、当面は、物価上昇の影響を受けつつも、行動制限下で積み上がってきた貯蓄にも支えられたペントアップ需要の顕在化に加え、賃金上昇率の高まりなどを背景としたマインドの改善などに支えられて、緩やかな増加を続けるとみられる。政府によるガソリン・電気・ガス代の負担緩和策や低所得世帯への給付金、所得税・住民税減税なども、個人消費を下支えすると考えられる。企業部門をみると、輸出や生産は、当面、海外経済の回復ペース鈍化の影響を受けて横ばい圏内で推移したあと、海外経済が国・地域ごとにばらつきを伴いつつ緩やかに成長していくもとで、グローバルなIT関連財の持ち直しなどから、増加基調に復していくと考えられる。企業収益は、内外需要が緩やかに増加していくもとで、改善傾向をたどるとみられる。そうしたもとで、設備投資は、緩和的な金融環境が下支えとなるなか、人手不足対応やデジタル関連の投資、成長分野・脱炭素化関連の研究開発投資、サプライチェーンの強靱化に向けた投資を含め、増加傾向を続けると考えられる。

○月例経済報告 令和6年5月（5月27日、内閣府）

- ・ 景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
- ・ 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。
- ・ 住宅設備は弱含んでいる。持家の着工は、このところ横ばいとなっている。分譲住宅の着工は、弱含んでいる。貸家の着工は、横ばいとなっている。総戸数は、3月は前月比4.4%減の年率76.0万戸となった。なお、首都圏のマンション総販売戸数は、このところ弱含んでいる。先行きについては、当面、弱含みで推移していくと見込まれる。
- ・ 対米ドル円レート（インターバンク直物中心相場）は、154円台から157円台まで円安方向に推移した後、154円台まで円高方向に推移し、その後156円台まで円安方向に推移した。
- ・ 長期金利（10年物国債利回り）は、0.8%台から1.0%台で推移した。

○短観 2024年3月（4月1日、日本銀行）

- ・ 12月調査の木材・木製品業の業況判断は、9月調査に対して、大企業で「良い」の幅が横ばい（+15→+15）中堅・中小企業で縮小（中堅企業：+8→-8、中小企業：-7→-13）。また、先行きは、大・中堅・中小企業で「良い」の幅が縮小（大企業：-15→-23、中堅企業：-4→-7、中小企業：-11→-24）。

短 観 (概要) — 2024年3月 —

第200回 全国企業短期経済観測調査

本件の対公表は
4月1日(月)8時50分

2024年4月1日
日本銀行調査統計局

I. 全国企業

調査対象企業数

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,794社	5,324社	9,118社	99.0%
うち大企業	917社	817社	1,734社	99.1%
中堅企業	1,062社	1,532社	2,594社	98.8%
中小企業	1,815社	2,975社	4,790社	99.1%

< 回答期間 > 2月27日 ~ 3月29日

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート (全規模・全産業)

		2023年度		2024年度		
		上期	下期	上期	下期	
米ドル円 (円/ドル)	2023年12月調査	139.38	138.75	140.00	—	—
	2024年3月調査	140.36	139.04	141.68	141.42	141.60
ユーロ円 (円/ユーロ)	2023年12月調査	148.85	148.63	149.07	—	—
	2024年3月調査	150.24	148.90	151.57	151.86	151.99

1. 業況判断

計表中の計数は、2024年3月の調査対象企業見直し後の新ベース。

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	大 企 業						中 堅 企 業						中 小 企 業					
	2023年12月調査		2024年3月調査				2023年12月調査		2024年3月調査				2023年12月調査		2024年3月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
製造業	13	8	11	-2	10	-1	6	5	6	0	5	-1	2	0	-1	-3	0	1
繊維	7	22	11	4	19	8	3	-9	5	2	-5	-10	-9	-19	-16	-7	-18	-2
木材・木製品	15	-15	15	0	-23	-38	8	-4	-8	-16	-7	1	-7	-11	-20	-13	-24	-4
紙・パルプ	3	-7	4	1	4	0	-3	15	3	6	17	14	4	7	-6	-10	3	9
化学	1	2	2	1	8	6	4	4	7	3	6	-1	0	-5	0	0	-1	-1
石油・石炭製品	0	8	9	9	8	-1	30	5	5	-25	5	0	0	-8	0	0	0	0
窯業・土石製品	22	17	29	7	32	3	-15	-10	0	15	-7	-7	-2	-4	3	5	8	5
鉄鋼	19	0	16	-3	0	-16	0	7	-5	-5	-5	0	-1	-7	-19	-18	-13	6
非鉄金属	15	9	6	-9	3	-3	10	-3	-8	-18	7	15	7	5	4	-3	0	-4
食料品	18	5	24	6	12	-12	4	1	9	5	7	-2	10	9	12	2	12	0
金属製品	2	0	0	-2	6	6	5	1	10	5	5	-5	6	4	3	-3	5	2
はん用機械	18	18	23	5	22	-1	13	11	27	14	12	-15	19	10	12	-7	9	-3
生産用機械	18	11	17	-1	17	0	8	12	17	9	3	-14	-6	-7	-3	3	-5	-2
業務用機械	22	22	16	-6	19	3	20	18	24	4	22	-2	-2	-1	4	6	8	4
電気機械	2	2	0	-2	3	3	-5	-6	-6	-1	-1	5	-3	-1	-3	0	0	3
造船・重機等	9	9	18	9	5	-13	16	24	26	10	36	10	8	10	12	4	10	-2
自動車	28	15	13	-15	8	-5	19	22	5	-14	3	-2	24	21	-8	-32	8	16
素材業種	9	4	9	0	8	-1	2	0	1	-1	1	0	-1	-6	-8	-7	-6	2
加工業種	14	10	12	-2	11	-1	8	7	8	0	6	-2	3	3	2	-1	4	2
非製造業	32	27	34	2	27	-7	19	15	20	1	15	-5	14	7	13	-1	8	-5
建設	22	19	26	4	23	-3	17	15	23	6	19	-4	13	6	15	2	7	-8
不動産	46	36	52	6	45	-7	21	14	25	4	16	-9	18	10	19	1	14	-5
物品賃貸	28	17	28	0	21	-7	35	24	39	4	30	-9	30	21	23	-7	22	-1
卸売	35	23	31	-4	19	-12	15	8	18	3	9	-9	12	5	11	-1	5	-6
小売	31	25	31	0	26	-5	23	22	20	-3	16	-4	9	5	8	-1	1	-7
運輸・郵便	16	17	24	8	25	1	7	1	8	1	3	-5	4	-1	5	1	1	-4
通信	48	48	29	-19	33	4	25	17	36	11	27	-9	33	16	8	-25	8	0
情報サービス	49	46	54	5	47	-7	45	41	37	-8	35	-2	32	25	35	3	29	-6
電気・ガス	27	14	16	-11	10	-6	11	4	11	0	8	-3	14	6	0	-14	5	5
対事業所サービス	33	36	40	7	38	-2	31	23	35	4	22	-13	17	11	14	-3	14	0
対個人サービス	28	23	33	5	30	-3	16	22	20	4	25	5	17	9	17	0	13	-4
宿泊・飲食サービス	52	42	52	0	42	-10	40	21	30	-10	35	5	23	15	25	2	23	-2
全産業	22	17	22	0	19	-3	14	11	14	0	11	-3	9	5	7	-2	5	-2

全 規 模 合 計						
製造業	5	3	4	-1	4	0
非製造業	18	12	18	0	13	-5
全産業	13	8	12	-1	9	-3

(注) 1. 回答率 = 業況判断の有効回答社数 / 調査対象企業数 × 100

2. 「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比。

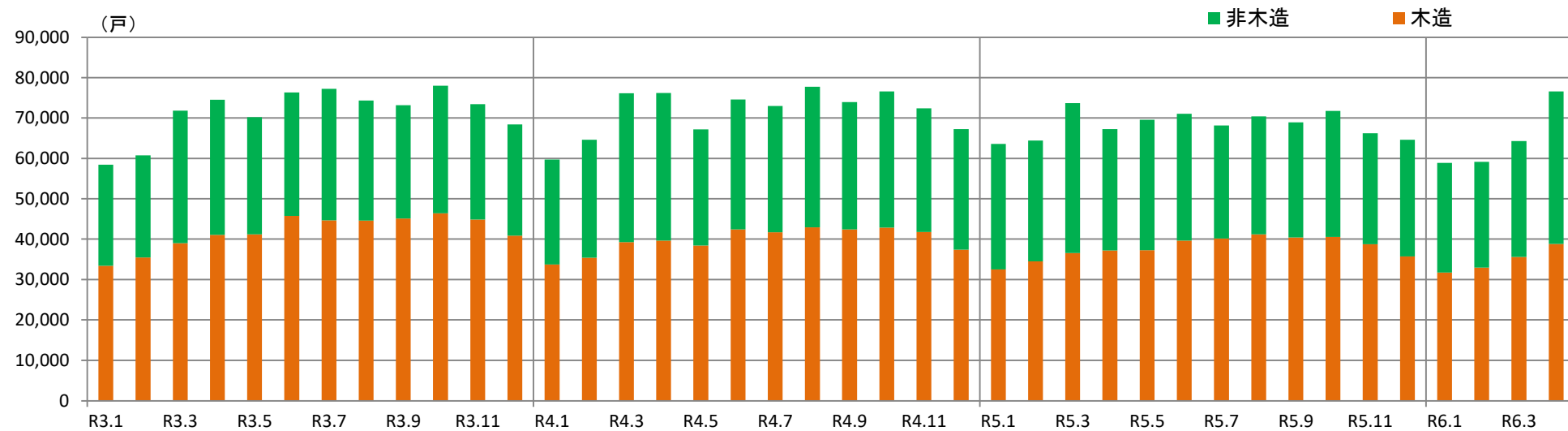
3. 「造船・重機等」は自動車以外の輸送用機械。

木材産業関係基本データの推移

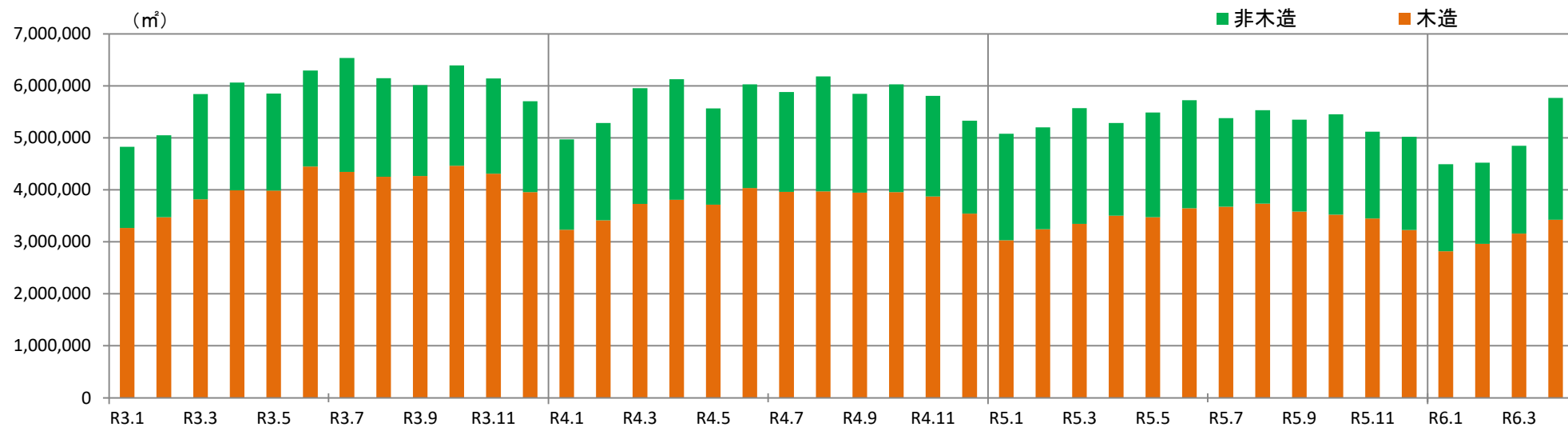
年月	①為替 (東京スポット 中心相場月均 円/\$)	②製材工場 国産材 入荷量 千m3	③製材工場 製材品 生産量 千m3	④合板工場 国産材 入荷量 千m3	⑤合板工場 合板 生産量 千m3	⑥木材輸入量		⑦ 木 材 価 格							
						丸太 千m3	製材 千m3	スギ			ホリトウッド 集成柱 円/本	バルブ向けチップ		合板 針葉樹 円/枚	
								中丸太 円/m3	正角 円/本	KD正角 円/本		針葉樹 円/m3	広葉樹 円/m3		
平成30年	110.39	12,526	9,218	4,201	3,216	3,926	5,871	13,575	2,023	2,200	1,875	6,382	11,014	1,287	
令和元年	109.01	13,069	9,175	4,530	3,324	3,019	5,700	13,458	2,046	2,207	1,860	6,586	11,219	1,294	
令和2年	106.78	11,551	8,135	4,131	2,993	2,301	5,000	12,683	2,064	2,205	1,805	6,745	11,386	1,251	
令和3年	109.80	13,019	9,035	4,735	3,215	2,639	4,856	16,125	2,210	3,496	3,121	6,666	11,377	1,363	
令和4年	131.38	13,123	8,738	5,059	2,977	2,501	4,895	17,592	2,135	4,127	4,317	6,961	11,636	2,224	
令和5年	140.48	12,508	8,195	3,929	2,529	2,016	3,334	15,758	1,753	3,130	2,429	7,597	12,308	2,020	
令和3年	1	103.70	932	618	335	252	219	322	13,500	2,057	2,176	1,850	6,726	11,411	1,230
	2	105.36	979	662	377	253	187	359	13,300	2,057	2,179	1,850	6,635	11,352	1,230
	3	108.65	1,065	781	422	272	247	381	13,400	2,067	2,206	1,850	6,635	11,352	1,230
	4	109.13	1,121	788	415	265	259	375	13,600	2,133	2,490	1,900	6,635	11,352	1,250
	5	109.19	1,020	738	382	254	213	371	15,500	2,163	2,864	2,300	6,635	11,352	1,270
	6	110.11	1,131	803	412	280	249	426	17,500	2,318	3,697	2,650	6,681	11,352	1,290
	7	110.29	1,156	798	382	277	215	451	17,800	2,361	4,190	2,950	6,681	11,352	1,330
	8	109.84	1,004	726	345	250	243	433	18,100	2,278	4,319	3,600	6,681	11,411	1,360
	9	110.17	1,143	773	398	276	219	433	18,100	2,278	4,415	4,300	6,681	11,411	1,410
	10	113.10	1,175	796	422	281	196	396	18,000	2,282	4,481	4,600	6,681	11,411	1,490
	11	114.13	1,222	803	440	285	218	458	17,500	2,278	4,475	4,800	6,681	11,352	1,540
	12	113.87	1,071	749	404	268	176	451	17,200	2,242	4,461	4,800	6,635	11,411	1,730
令和4年	1	114.83	1,031	646	393	250	226	510	16,900	2,235	4,332	4,800	6,817	11,411	1,890
	2	115.20	1,100	689	463	259	170	434	17,600	2,176	4,329	4,800	6,817	11,411	1,980
	3	118.51	1,223	806	496	279	222	465	17,800	2,176	4,326	4,800	6,862	11,411	2,070
	4	126.04	1,155	791	500	258	234	396	17,500	2,179	4,326	4,800	6,908	11,528	2,170
	5	128.78	1,041	726	430	240	279	463	17,900	2,179	4,359	4,800	6,953	11,646	2,210
	6	133.86	1,145	809	469	270	274	442	17,800	2,179	4,346	4,600	6,953	11,646	2,300
	7	136.63	1,123	752	424	265	163	429	17,500	2,179	4,339	4,500	6,953	11,646	2,360
	8	135.24	1,009	698	385	240	223	490	17,400	2,136	4,180	4,200	6,953	11,705	2,360
	9	143.14	1,057	711	402	252	174	355	17,400	2,100	3,962	4,000	6,953	11,705	2,350
	10	147.01	1,095	705	379	227	173	343	18,000	2,040	3,793	3,700	7,044	11,705	2,340
	11	142.44	1,159	731	371	226	165	292	17,800	2,040	3,644	3,500	7,135	11,881	2,340
	12	134.93	985	674	347	211	197	277	17,500	2,001	3,582	3,300	7,181	11,940	2,320
令和5年	1	130.20	996	633	320	196	222	260	17,400	1,974	3,443	3,000	7,226	11,999	2,330
	2	132.68	1,125	679	330	187	141	254	17,300	1,958	3,433	2,800	7,226	11,999	2,290
	3	133.85	1,229	766	308	195	185	261	16,700	1,938	3,367	2,600	7,226	11,999	2,210
	4	133.33	1,109	718	302	195	173	245	15,800	1,835	3,284	2,500	7,590	12,293	2,120
	5	137.37	1,016	679	301	199	167	289	15,100	1,795	3,208	2,300	7,681	12,411	2,040
	6	141.19	1,019	716	349	218	182	273	14,700	1,657	3,171	2,250	7,681	12,411	1,990
	7	141.21	938	671	312	218	224	278	14,500	1,657	2,996	2,250	7,726	12,411	1,940
	8	144.77	876	609	300	213	181	307	14,400	1,653	2,960	2,250	7,726	12,411	1,890
	9	147.67	895	619	329	223	128	311	15,200	1,597	2,927	2,250	7,726	12,411	1,880
	10	149.53	982	651	350	231	170	261	15,900	1,653	2,923	2,250	7,771	12,411	1,900
	11	149.83	1,194	737	371	234	106	310	16,200	1,657	2,930	2,350	7,771	12,469	1,860
	12	144.07	1,129	717	358	221	136	285	15,900	1,657	2,917	2,350	7,817	12,469	1,790
6年	1	146.57	995	581	315	201	162	277	16,300	1,795	2,917	2,350	7,817	12,469	1,800
	2	149.42	1,072	638	348	201	103	290	16,300	1,812	2,913	2,380	7,862	12,469	1,730
	3	149.63	1,052	654	309	197	226	328	16,400	1,812	2,851	2,450	7,908	12,469	1,680
	4	153.43	1,024	648	312	213	117	344	16,100	-	2,801	2,450	7,908	12,763	-
	5	156.13	-	-	-	-	-	-	16,000	-	2,798	2,450	8,044	12,881	-

関連資料：①日本銀行「主要時系列統計データ表(月次)」②～⑤農林水産省「製材統計」「合板統計」、⑥農林水産省「農林水産物輸出入情報」、⑦農林水産省「木材価格」、うちホリトウッド集成柱は「日刊木材新聞調べ」(※農林水産省「木材価格」は、平成30年1月から、平成28年の素材・木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。スギ正角及び針葉樹合板の価格は、令和4年1月から四半期毎(4月、7月、10月及び翌1月)の公表としている。)

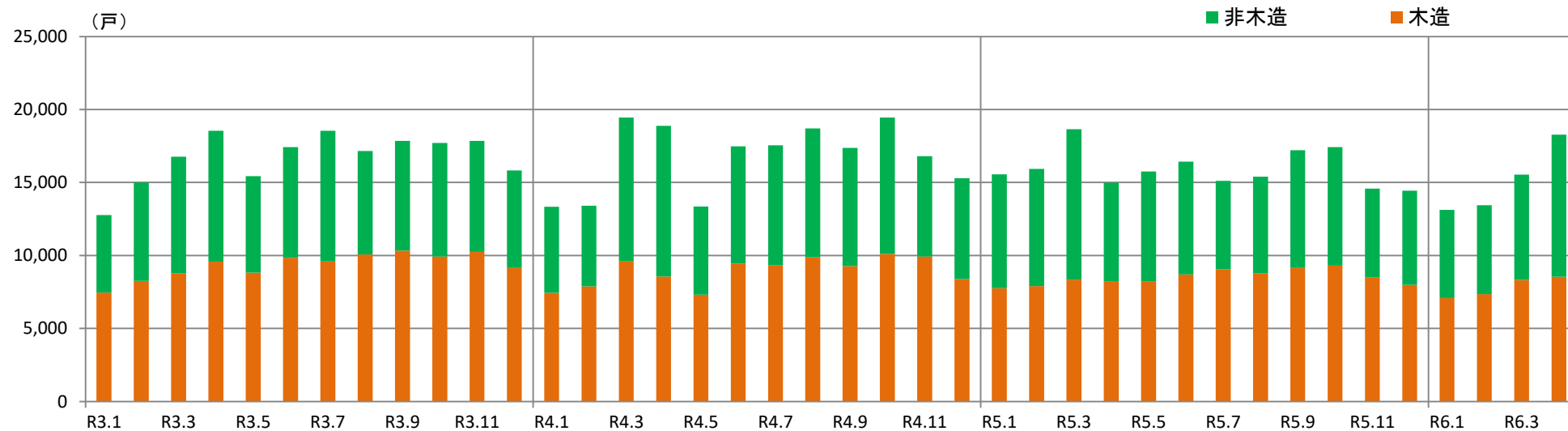
全国の新設住宅着工戸数



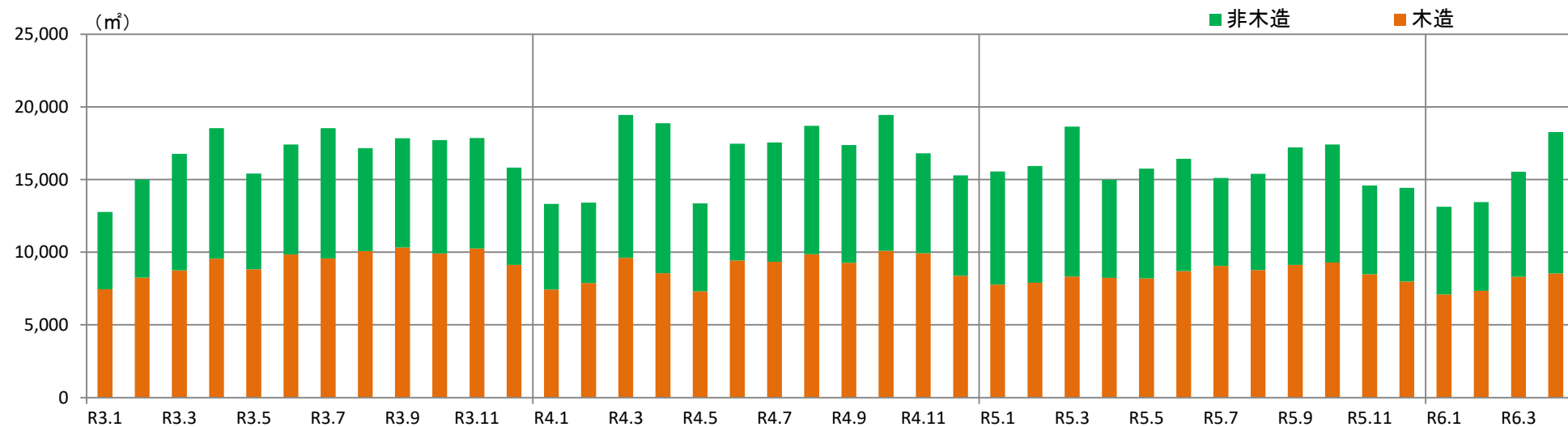
全国の新設住宅床面積



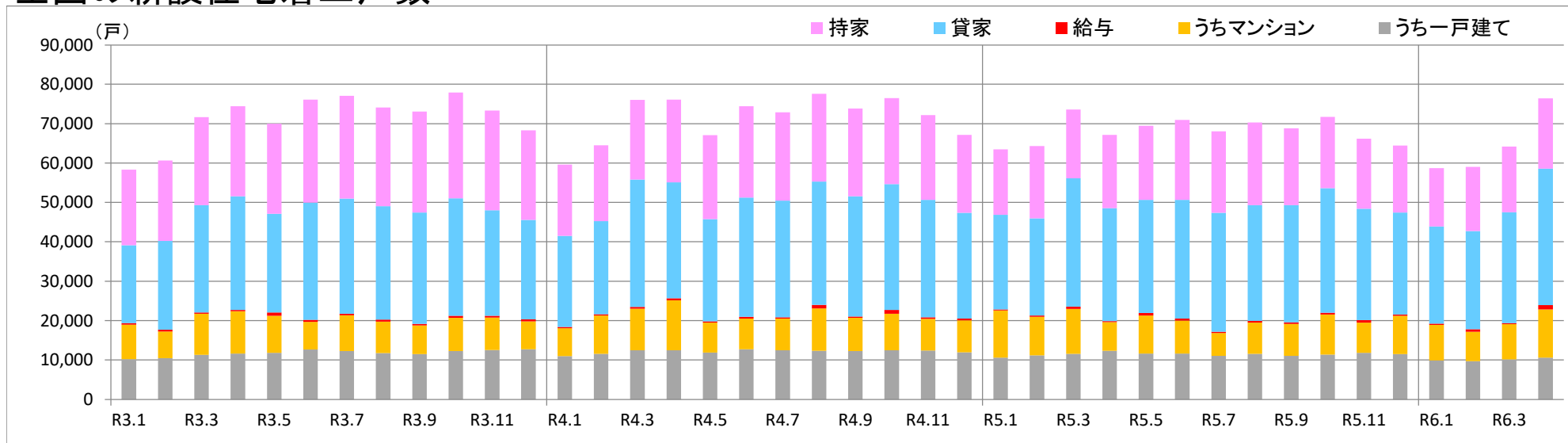
管内の新設住宅着工戸数



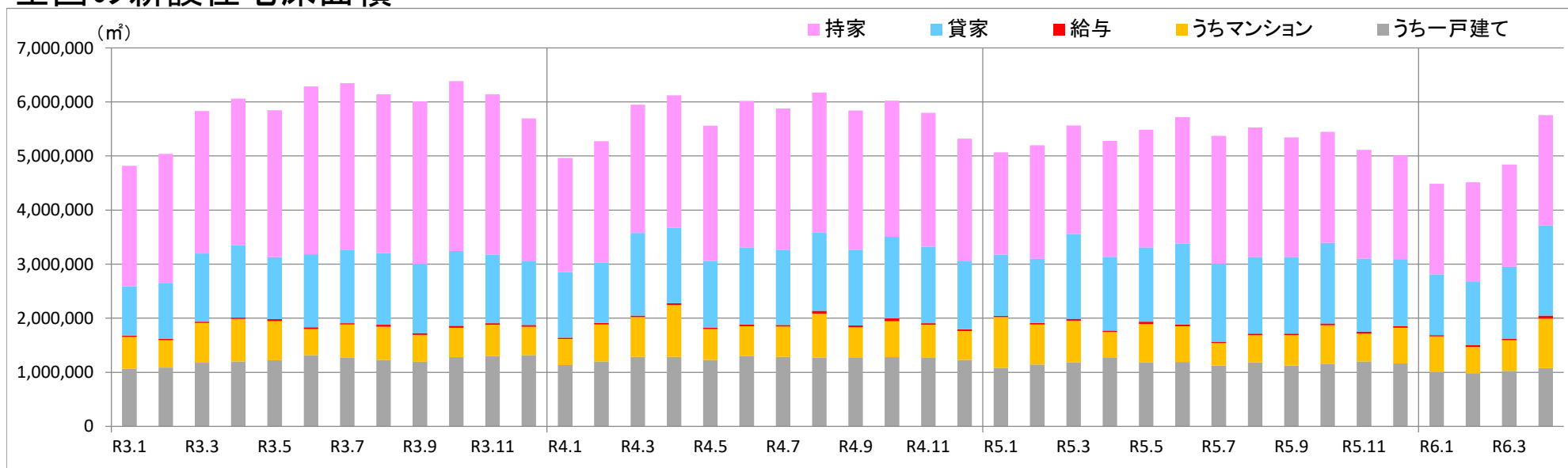
管内の新設住宅床面積



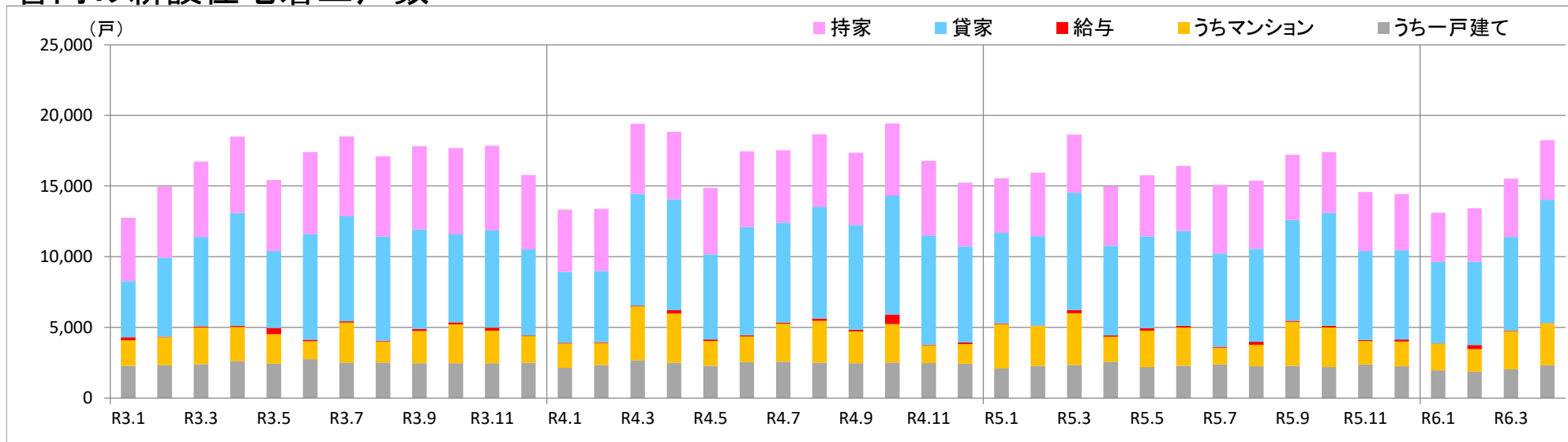
全国の新設住宅着工戸数



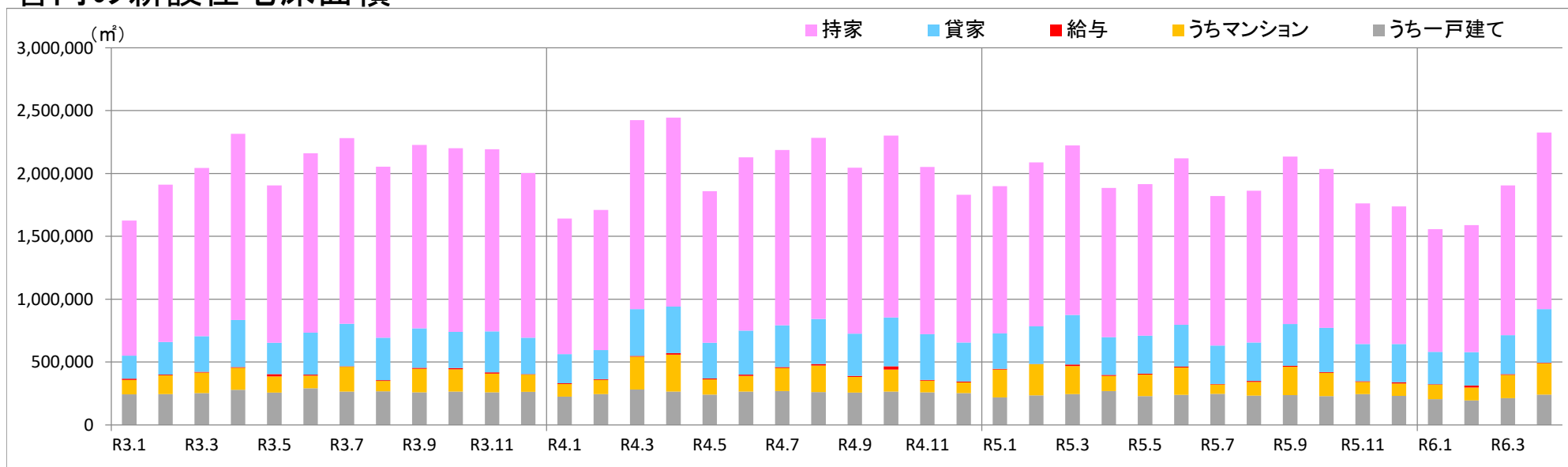
全国の新設住宅床面積



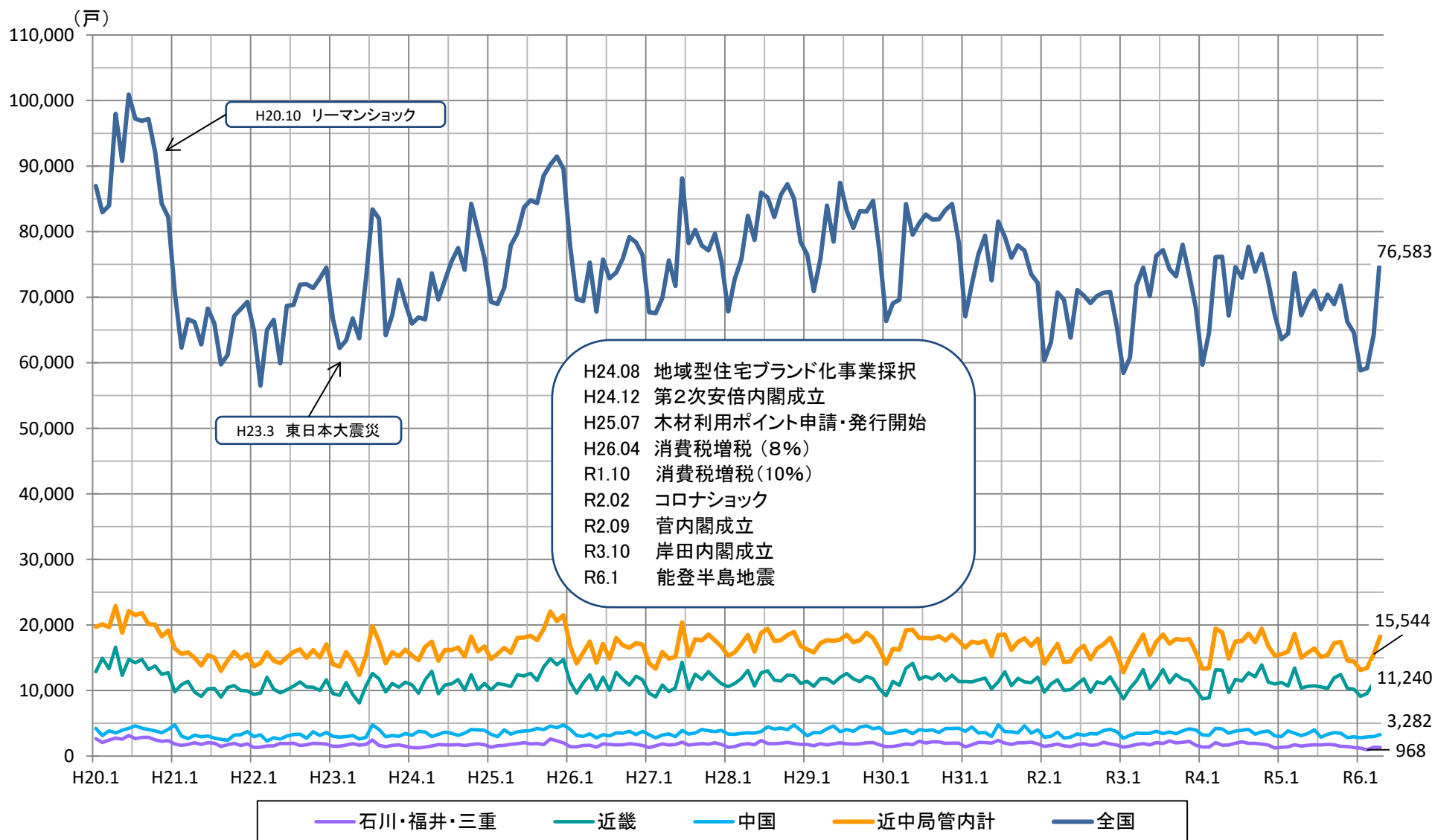
管内の新設住宅着工戸数



管内の新設住宅床面積



住宅着工戸数の推移(月毎)



※(資料)国土交通省「建築着工統計調査(月次)」【住宅】都道府県別着工戸数」より

<資料>

木材需給動向関連資料

モクレポ



○睦モクコンビル（長崎県杵岐市）
※令和5年度木材利用優良施設等コンクール 審査委員会特別賞

令和6年6月

No.33

特集

- 令和6年能登半島地震に係る林野関係の被害・対応状況（第6報）
- 令和5年度森林・林業白書を公表
- 新たな森林整備保全事業計画を閣議決定
- 改正クリーンウッド法の省令・基本方針の公布
- 「建築物への木材利用に係る評価ガイダンス」を策定
- 第74回全国植樹祭の開催
- 国連森林フォーラム第19回会合（UNFF19）

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

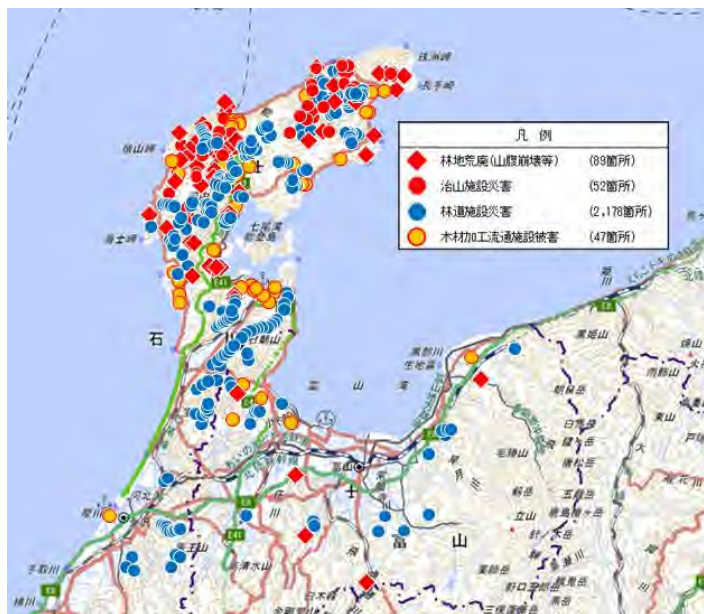
CONTENTS 令和6年6月号

特集	1 令和6年能登半島地震に係る林野関係の被害・対応状況（第6報）	…1
	2 令和5年度森林・林業白書を公表	…2
	3 新たな森林整備保全事業計画を閣議決定	…3
	4 改正クリーンウッド法の省令・基本方針の公布	…4
	5 「建築物への木材利用に係る評価ガイダンス」を策定	…5
	6 第74回全国植樹祭の開催	…6
	7 国連森林フォーラム第19回会合（UNFF19）	…7
01 基礎的指標		
1	新設住宅着工戸数	…8
2	新設住宅着工床面積 <参考> 非居住用建築物着工床面積	…9
3	木材産業の業況	…11
4	USドル及びユーロ為替相場	…12
5	米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃	…13
6	中国の木材輸入量の動向	…14
02 木材価格情報		
1	スギ・ヒノキ原木の主要市場価格	…15
2	木材価格（農林水産統計）	…17
03 木材需給情報		
1	製材工場の原木入荷、製品生産等の動向	…26
2	合板工場の原木入荷、製品生産等の動向	…27
3	チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向	…28
4	燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高	…29
5	素材生産量	…30
6	木材生産の産出額	…31
04 林産物輸出入情報		
1	林産物輸出額	…32
2	木材輸出額	…33
3	木材輸入額	…34
4	木材輸入量	…35
5	製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価	…41
05 特用林産情報		
1	特用林産物の国内生産量	…42
2	特用林産物の産出額	…43
3	特用林産物の輸出入量	…44
4	特用林産物の輸出額	…45
5	中国からのしいたけ菌糸輸入量	…48
6	きのこ類の卸売量・価格	…49
06 セミナー・イベント情報		
	6月中旬以降の開催情報	…50
お知らせ	10月1日から消費税インボイス制度が始まりました！	…51
	独立行政法人農林業信用基金からのお知らせ	…53
	ウッド・チェンジ ロゴマーク活用のご案内	…54
	令和6年4月から相続登記の申請が義務化されます	…55
	みどり認定制度がスタートしています！	…57

- 2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」への林野関係の被害状況、対応状況は以下のとおり。
- 県産材を活用した応急仮設住宅の供給が開始。

林野関係の被害状況

(6月4日現在)



(1) 林地荒廃(山腹崩壊等) <計89箇所>

県名	被災市町村と箇所数
新潟県	佐渡市1
富山県	富山市2、氷見市1、黒部市1、射水市1
石川県	七尾市8、輪島市47、珠洲市13、志賀町6、穴水町2、能登町7

(2) 治山施設災害 <計52箇所>

県名	被災市町村と箇所数
石川県	七尾市2、輪島市35、珠洲市9、穴水町1、能登町5

(3) 林道施設災害 <計2,178箇所>

県名	被災市町村と箇所数
新潟県	長岡市3、佐渡市3、阿賀町1
富山県	富山市7、高岡市4、氷見市11、滑川市4、南砺市2、上市町1、立山町1、朝日町1
石川県	金沢市17、七尾市114、小松市4、輪島市780、珠洲市471、羽咋市3、白山市10、津幡町4、志賀町62、宝達志水町10、中能登町35、穴水町281、能登町349

(4) 木材加工流通施設被害 <計47箇所>

県名	被災市町村と箇所数
新潟県	新潟市1、佐渡市1
富山県	富山市1、高岡市2、氷見市2、入善町1
石川県	金沢市1、七尾市10、輪島市11、珠洲市4、志賀町6、穴水町3、能登町4

(5) 特用林産施設等被害 <計93箇所>

県名	被災市町村と箇所数
新潟県	新潟市7、長岡市4、小千谷市1、加茂市1、十日町市8、糸魚川市2、妙高市1、上越市4、阿賀野市1
富山県	富山市2、高岡市2、氷見市2、小矢部市3
石川県	金沢市3、七尾市1、輪島市2、珠洲市2、白山市1、能美市1、志賀町1、宝達志水町1、穴水町2、能登町8
長野県	長野市1、中野市15、飯山市16、小布施町1

県産材を活用した応急仮設住宅の供給が開始

- 木造応急仮設住宅については、4月末までに輪島市南志見地区で100戸が完成。外壁や床材などに県産材を活用し、黒瓦屋根を採用するなど、周辺の景観に調和するよう配慮。
- 仮設住宅として2年間使用した後、市有住宅への転用が検討されている。



木造応急仮設住宅（輪島市南志見地区）
写真は石川県提供

令和6年能登半島地震に関する情報の詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/saigai/r6notojishin.html>



特集-2 令和5年度森林・林業白書を公表

- 2024年6月4日に「令和5年度森林・林業白書」が閣議決定。
- 特集に「花粉と森林」を、トピックスに「国民一人一人が、森を支える。森林環境税～森林環境税の課税開始と森林環境譲与税の取組状況～」等5件を掲載。

■ 特集、トピックス

<p>特集 花粉と森林</p> <p>スギ等の人工林が造成されてきた経緯やスギ花粉症等の顕在化と対応の経緯を説明するとともに、伐採・植替えの加速化や木材需要の拡大等の施策を総合的に推進するという花粉発生源対策の方向性や、国民の多様なニーズに対応した森林を育むという今後の森林整備の方向性について説明。</p>  <p>花粉発生源の減少に向けた取組</p>	<p>1. 国民一人一人が、森を支える。森林環境税～森林環境税の課税開始と森林環境譲与税の取組状況～</p> <p>森林の恩恵を受ける国民一人一人が負担を分かち合い森林を支える仕組みとして、令和元年度に森林環境税及び森林環境譲与税が創設。森林環境譲与税は令和5年度で譲与開始から5年となり、市町村等において間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等、地域の実情に応じた取組が展開。</p>  <p>人材育成・担い手の確保 林業実務研修会の開催 (岡山県美咲町)</p>
<p>2. 合法伐採木材等をさらに広げるクリーンウッド法の改正</p> <p>2023年4月に成立した改正クリーンウッド法(正式名称:合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律)の主な改正内容を紹介。 施行は2025年4月1日を予定。</p> <p>主な改正点</p> <ul style="list-style-type: none"> 川上・水際の木材関連事業者による合法性の確認等を義務化 素材生産販売事業者に対し、伐採造林届出書等の写しの情報提供を義務化 合法性の確認等の情報が消費者まで伝わるよう小売事業者を木材関連事業者に追加 	<p>3. 地域一体で取り組む「デジタル林業戦略拠点」がスタート</p> <p>林業におけるデジタル技術の活用基盤は着実に進展しているが、取得したデータの活用がその取得者に限られるなど、個別・分断的。令和5年度から、地域コンソーシアムを形成してデジタル技術の現場実装を関係者が連携して進める「デジタル林業戦略拠点」の取組を3地域(北海道・静岡県・鳥取県)で開始。</p>  <p>北海道地域 ICT/ハーベスタデータの例</p>
<p>4. G7 広島サミットにおいて 持続可能な森林経営・木材利用に言及</p> <p>2023年5月に開催されたG7広島サミットで採択された成果文書に「持続可能な森林経営と木材利用の促進」が初めて明記されたほか、G7関係閣僚会合において「建築物への木材の使用」の必要性に言及されたことについて紹介。</p>  <p>G7広島サミットでは国産ヒノキを活用した机と椅子を利用</p>	<p>5. 令和6年能登半島地震による山地災害等への対応</p> <p>2024年1月1日に石川県能登地方を震源とする地震により、大規模な山腹崩壊などが発生したほか、林道、木材加工流通施設、特用林産施設等でも多数の被害が発生。被災状況の把握と早期の災害復旧に向けた取組状況について紹介。</p>  <p>大規模な地すべり性崩壊 (石川県輪島市・珠洲市)</p>

■ 各章の構成

<p>(第1章) 森林の整備・保全: 森林経営管理制度の取組事例、J-クレジット制度を活用した森林づくりの拡大、森林における生物多様性の保全等について記述</p>
<p>(第2章) 林業と山村(中山間地域): 増加している林業産出額、「新しい林業」の取組等の林業の動向や、山村の活性化の取組等について記述</p>
<p>(第3章) 木材需給・利用と木材産業: 中高層建築物等での木材利用の拡大、木材産業の競争力強化に向けた取組等について記述</p>
<p>(第4章) 国有林野の管理経営: 国有林における公益重視の管理経営の状況、森林・林業の再生への貢献、「国民の森林(もり)」としての取組等について記述</p>
<p>(第5章) 東日本大震災からの復興: 海岸防災林・林地荒廃等の復旧事業、林業・木材産業の復旧状況、放射性物質対策等について記述</p>
<p>令和6年度 森林及び林業施策: 令和6年度予算等を基に施策の概要を整理</p>

「令和5年度森林・林業白書」については、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/index.html>

◇白書で取り上げている事例に直接リンクするサイトを開設しました!◇

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/r5hakusyo/jirei.html>



森林・林業白書



事例一覧

特集-3 新たな森林整備保全事業計画を閣議決定

- 2024年5月24日に、令和6年度から5年間を計画期間とする新たな「森林整備保全事業計画」を閣議決定。
- 本計画では、全国森林計画における伐採や造林等の計画量に基づいて森林整備事業と治山事業の目標や成果指標等を定めており、花粉発生源対策に係る成果指標を新たに設定。

■ 森林整備保全事業計画の趣旨

- 森林整備保全事業計画は、農林水産大臣が森林法第4条の規定に基づき、全国森林計画の作成と併せて5年毎にたてる計画。
- 全国森林計画に掲げる森林の整備・保全の目標の計画的な達成に資するため、森林整備保全事業（森林整備事業、治山事業）の実施の目標や成果指標等を定めるもの。

■ 実施の目標や成果指標の概要

- 重点的に取り組む目標ごとに、事業の達成状況を測定する主な成果指標等を設定。
- 花粉発生源対策に係る成果指標を新たに設定。

目標	成果指標	目標値	主な事業量
安全で安心な暮らしを支える国土の形成への寄与	① 周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の数	約5万8千1百集落 (R5) → 約6万5百集落 (R10)	<ul style="list-style-type: none"> 山地災害危険地区等における治山対策の実施 約3万4千箇所 海岸防災林等の復旧・整備 約100km 択伐等による育成複層林への誘導 約9.3万ha 間伐や人工造林の実施 約253万ha 路網整備 約7.0万km
	② 防災機能の発揮の観点から森林の保全等を行った海岸防災林や防風林などの延長	約9千km (R10)	
国民の多様なニーズに応える森林への誘導	③ 育成複層林に誘導することとされている育成単層林のうち、育成複層林に誘導した森林の割合	1.5% (R5) → 4.3% (R10)	
	④ スギ人工造林面積に占める花粉の少ないスギ苗木植栽面積の割合	50% (R3) → 70% (R10)	
森林資源の循環利用を通じた持続可能な社会の実現への寄与	⑤ 木材の安定的かつ効率的な供給に資することが可能となる育成林の資源量	約21億7千万㎡ (R5) → 約25億5千万㎡ (R10)	
	⑥ 持続的かつ適切な森林経営による健全な森林への誘導率	35% (R10)	
	⑦ 人工造林面積のうちコストの低減に取り組んだ造林面積の割合	44% (R3) → 85% (R10)	
山村地域の活力創造への寄与	⑧ 森林資源を積極的に利用ようになった都道府県数	47都道府県 (R10)	

森林整備保全事業計画の詳細は、次のURLをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/sinrin_keikaku/con_3.html

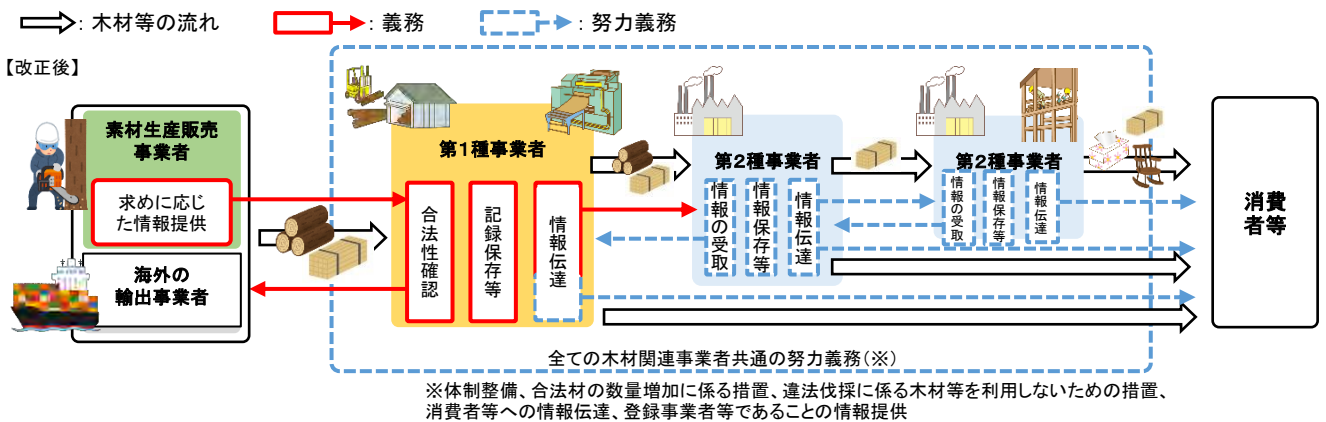


特集-4 改正クリーンウッド法の省令・基本方針の公布

- ・改正クリーンウッド法の運用に関する詳細を規定する省令及び基本方針を6月3日に公布。
- ・2025年4月1日の改正法の施行に向けて、今後、関係者への説明会等の開催、クリーンウッド・ナビ等を通じた情報提供等を行う予定。

■ 改正クリーンウッド法の概要

- ・事業者は合法伐採木材等の利用に努めるとともに、木材関連事業者は合法伐採木材等の利用を確保するために取り組むべき措置として、違法伐採に係る木材等を利用しないようするための措置等を明確化
- ・川上・水際の木材関連事業者に対し木材等を譲り受ける際に合法性確認等を義務化したことに加え、素材生産販売事業者に対し当該木材関連事業者からの求めに応じて伐採造林届等の情報提供を行うことの義務付け等を措置（上記義務付けに関し、主務大臣による指導・助言、勧告、公表、命令、命令違反の場合の罰則を規定）



■ 省令、基本方針において詳細を定める主な内容

- ・対象物品
- ・義務として第一種事業者が行うリスクに応じた合法性の確認、記録の作成・保存、情報の伝達等の方法
- ・定期報告の対象となる一定規模以上の第一種事業者の基準等
- ・合法性確認木材等の数量を増加させるための措置等に関する事項
- ・第二種事業者が行う情報の保存・伝達等の方法
- ・合法伐採木材等の流通及び利用の促進の基本的方向



「クリーンウッド法等の制度」に公布された省令・基本方針を掲載
今後、運用詳細についても説明資料を掲載予定

■ 施行に向けた今後の予定

- ・都道府県向け説明会(6月末～7月)、登録事業者向け説明会(7月)
- ・関係者向け制度説明会(9～11月)
- ・政令に基づく告示の公布、手引き、Q&Aの公表
- ・情報伝達等に対応したシステムの開発

2025年4月1日 改正法の施行

詳細はクリーンウッド・ナビを是非ご覧ください！
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/goho/index.html>



「建築物への木材利用に係る評価ガイドンス」を策定

- 林野庁は、2024年3月31日に、「建築物への木材利用に係る評価ガイドンス」を策定・公表。
- 建築物への木材利用による、カーボンニュートラルへの貢献や森林資源の循環利用への寄与等の効果に関する評価項目・方法を整理。

■ガイドンス策定の背景

- 近年、ESG投資等が拡大する中、建築分野では、木材利用による、カーボンニュートラルへの貢献、森林資源の循環利用への寄与、空間の快適性向上などの効果に期待。
- こうした状況を踏まえ、建築事業者等が投資家等に対して建築物への木材利用の効果を訴求し、投資家等がそれを積極的に評価できる環境の整備を目的として、国際的なESG関連情報開示の動向も踏まえた評価項目・評価方法を整理したガイドンスを策定・公表。

■ガイドンスにおける評価の全体像

評価分野	評価項目	評価方法
1. カーボンニュートラルへの貢献	①建築物のエンボディドカーボンの削減	✓ ライフサイクルアセスメント（LCA）により算定した、建築物に利用した木材の製品製造に係る温室効果ガス（GHG）排出量を示す。
	②建築物への炭素の貯蔵	✓ 林野庁「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」により炭素貯蔵量を示す。
2. 持続可能な資源の利用	①持続可能な木材の調達（デュール・デリジェンスの実施）	✓ 利用する木材について、以下を確認していることを示す。また、i)についてはその量や割合を示す。 i) ①合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（クリーンウッド法）に基づき合法性が確認でき、かつその木材が産出された森林の伐採後の更新の担保を確認できるものであること、又は②認証材（森林認証制度により評価・認証された木材）であることのいずれかであること。 ii) サプライチェーンにおいて「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」を踏まえた人権尊重の取組が実施されていること。
	②森林資源の活用による地域貢献	✓ 地域産材（又は国産材）の利用の有無、利用量や利用割合を示す。 ✓ 地域産材の活用を目的として、地域の林業・木材産業者と建築物木材利用促進協定等を締結していることを示す。 ✓ 産業連関表を用いて、木材利用による地域経済への波及効果を定量的に示す。
	③サーキュラーエコノミーへの貢献	✓ サーキュラーエコノミーの観点から、木材は再生可能資源として評価されるものであることを示す。 ✓ 建築物において循環性（サーキュラリティ）を意識した、例えば以下のような取組を実施していることについて具体的な内容を、可能な場合は定量的に示す。 i) 木材利用により非生物由来の（再生不可能な）バージン素材の利用を削減している。 ii) 再利用木材（木質ボード等）を活用している。 iii) 解体時の環境負荷を低減する設計を採用している。
3. 快適空間の実現	内装木質化による心身面、生産性等の効果	✓ 建築物の用途等に応じて、訴求度が高い内装木質化の効果を示す。

「建築物への木材利用に係る評価ガイドンス」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/esg_architecture.html



- 全国植樹祭は、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民の理解を深めるため、昭和25年から各都道府県を巡って、毎年春季に開催。
- 第74回となる本年は、令和6年5月26日に岡山県で開催。テーマは、「晴れの国 光で育つ 緑の心」。

1. 概要

- 開催日：令和6年5月26日（日）
- 開催地：ジップアリーナ岡山（岡山県岡山市）
- 出席者：衆議院議長、（公社）国土緑化推進機構理事長、環境副大臣、文部科学副大臣、開催地等自治体関係者 等

2. 記念式典

- 天皇陛下から、以下のおことばを賜った。
 - 岡山県においては、昭和42年に「拡大造林と環境緑化」をテーマに、岡山市にある金山山頂で第18回全国植樹祭が開催された。
 - 現在では、「木を伐って、使って、植えて、育てる」という林業のサイクルを循環させる取組が推進されるとともに、少花粉スギやヒノキへの植替えが進められるなど、森林が守り育てられていることを喜ばしく思う。
 - また、循環型の木材の利用や健全な森林づくりの輪が、ここ岡山の地から全国へ広がり、そして将来の世代へとつながっていくことを願う。

- 全国の緑化功労者や学校関係緑化コンクール等の表彰、岡山県立勝間田高等学校による苗木の贈呈、額賀福志郎大会会長や坂本哲志農林水産大臣などによる記念植樹を実施。

- 両陛下におかれては、天皇陛下がアカマツ、ヒノキ（少花粉）、スギ（少花粉）の苗木を、皇后陛下がクロガネモチ、アテツマンサク、キクザクラの苗木をそれぞれお手植えされた。
また、天皇陛下はヒノキ（少花粉）とスギ（少花粉）の種を、皇后陛下はヤマザクラとイロハモミジの種をお手播きされた。

3. 次回大会

- 令和7年度春季に、埼玉県秩父市、小鹿野町で開催予定。



天皇陛下によるおことば



天皇陛下のお手植え



岡山県立勝間田高等学校の生徒から苗木を受け取る坂本農林水産大臣（後列）

これまでの全国植樹祭については、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/ryokka/syokuju/index.html>



特集-7 国連森林フォーラム第19回会合（UNFF19）

- 2024年5月6～10日にニューヨークの国連本部において、UNFF19が開催。
- 日本からは、林野庁、外務省が出席し、我が国の意見表明や取組紹介等を実施。

■ 国連森林フォーラムとは

- 持続可能な森林経営の推進に向けて、1992年の国連環境開発会議で「森林原則声明」が採択されて以降、国連の場において、政府間対話が継続的に実施。
- 2000年に、経済社会理事会の下に国連森林フォーラム（United Nations Forum on Forests: UNFF）が設立され、原則年に1度、世界の森林に関する対話を実施。
- 政策会合と技術会合を隔年で開催。本年は決議が採択される政策会合の実施年で各国からハイレベルが出席。



国連森林フォーラムの様子

■ 会合の概要と成果

- 各国政府、国際機関、主要グループ等から約400人の関係者が出席。
- ハイレベル会合において、2030年をゴールとする世界森林目標（GFGs）※達成への決意を示すハイレベル会合宣言を採択。
- 小坂林野庁次長が出席し、GFGs達成に向けた我が国の取組や森林を活用した解決策への発展に向けた決意をスピーチ。
- 同宣言において、日本が積極的に発信している「持続可能な木材利用」を、持続可能な森林経営と並んで明記。
- 同時に、UNFFとその関係者が、2030年に向けて取り組むべき活動と責務を列記したオムニバス決議を採択。



小坂次長によるスピーチ

※ 2017年にUNFFで採択された「国連森林戦略計画（UNSPF2017-2030）」において、2030年までに国際社会が達成すべき目標として、6つの世界森林目標及び26のターゲットが位置づけられている。

■ UNFF19における日本の取組

- 本会合に合わせて、日本の森林・林業施策をとりまとめた「国による任意の貢献：VNC」をUNFF事務局に提出し、UNFFのHPに公表。
- UNFF事務局長及びFAO林業部長とバイ会談を実施し、世界森林目標や持続可能な森林経営及び木材利用に向けて、各国・関係機関の連帯の必要性等について確認。
- ニュージーランド政府代表団と持続可能な木材利用等について意見交換を実施。



ビャオUNFF事務局長とのバイ会談



呉志民FAO林業部長とのバイ会談



ニュージーランド政府代表団との意見交換

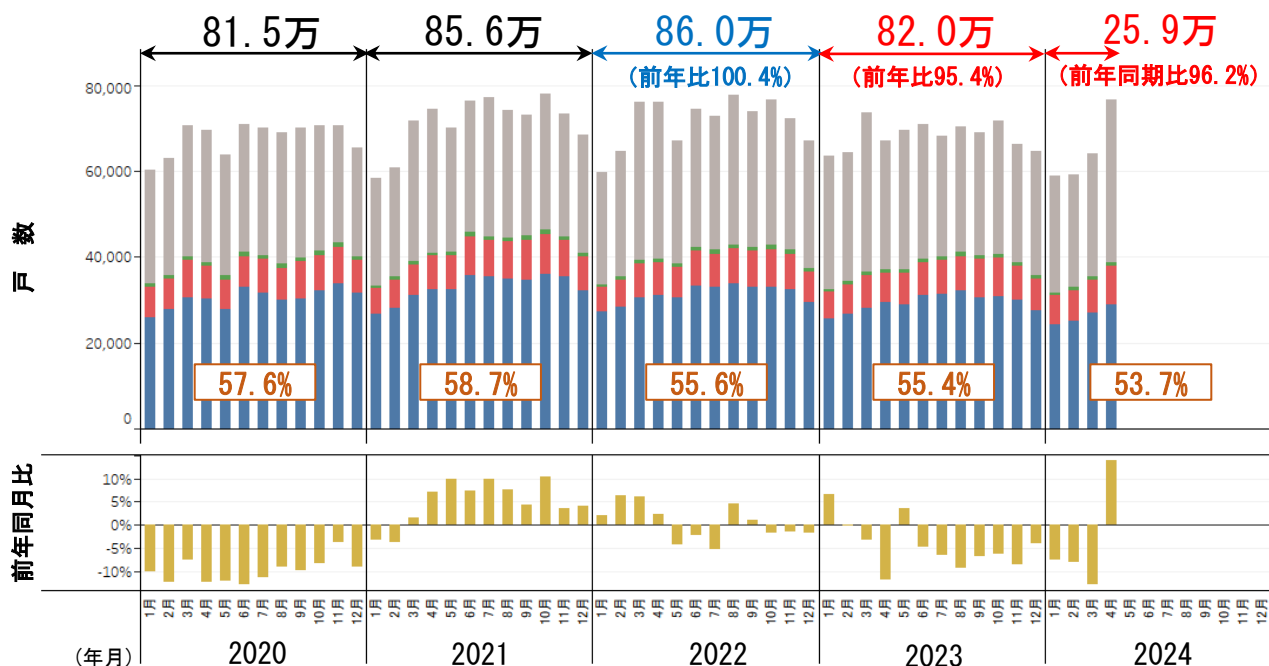
国連森林フォーラム（UNFF）の詳細は、次のURLをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaigai/index.html#h_178920962441674526413849



基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

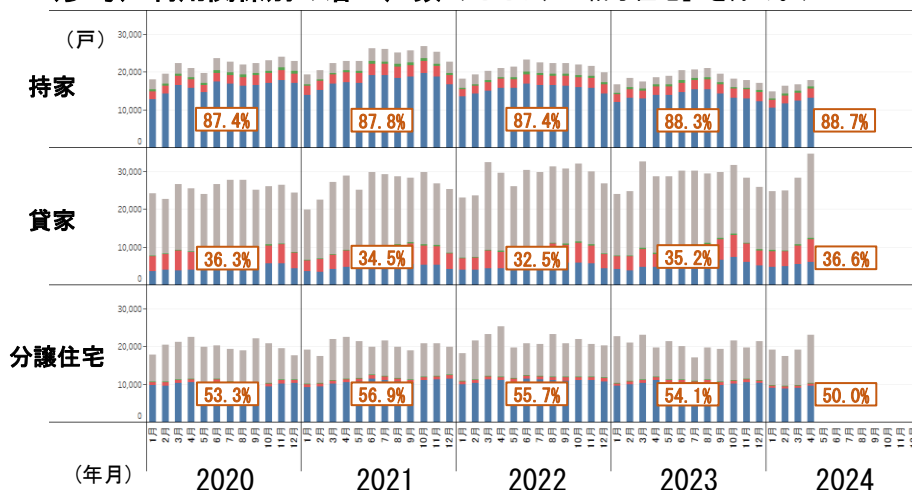
- 2023年の新設住宅着工戸数は、82.0万戸（前年比95.4%）、このうち木造住宅は、45.4万戸（同95.1%）
- 2024年1～4月の新設住宅着工戸数は、25.9万戸（前年同期比 96.2%）、このうち木造住宅は、13.9万戸（同98.9%）。



（単位：戸）

構造別の着工戸数	2024年 1～4月	2023年 同期	2023年 同期比	2022年 同期	2022年 同期比
合計	258,859	268,973	96.2%	276,719	93.5%
■非木造	119,761	128,266	93.4%	128,692	93.1%
木造	139,098	140,707	98.9%	148,027	94.0%
■木造プレハブ	3,163	3,310	95.6%	2,873	110.1%
■2×4	30,511	27,190	112.2%	27,617	110.5%
■在来軸組	105,424	110,207	95.7%	117,537	89.7%
□木造率	53.7%	52.3%		53.5%	

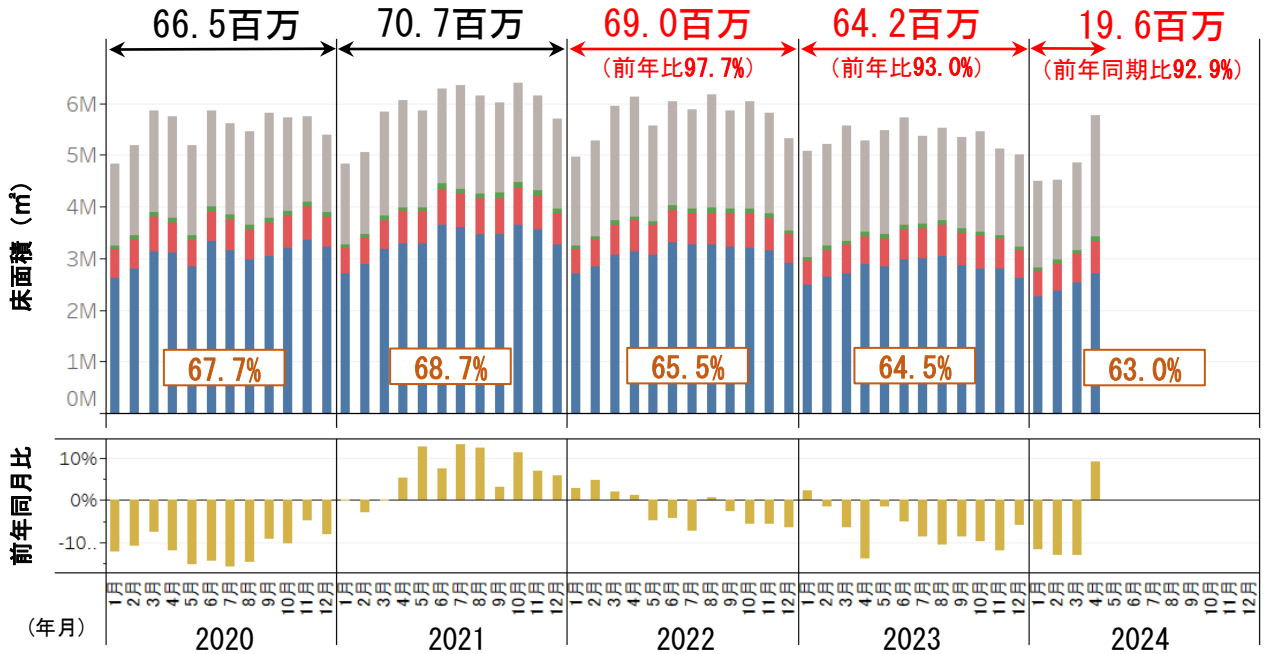
（参考）利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）



資料：国土交通省「住宅着工統計」

基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

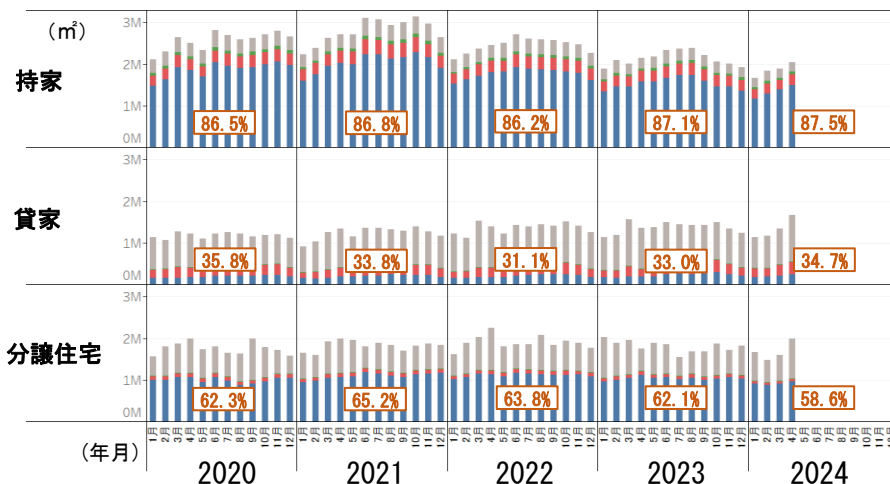
- 2023年の新設住宅着工床面積は、64.2百万㎡（前年比93.0%）、このうち木造住宅は、41.4百万㎡（同91.7%）
- 2024年1～4月の新設住宅着工床面積は、19.6百万㎡（前年同期比92.9%）、このうち木造住宅は、12.4百万㎡（同94.2%）。



(単位：千㎡)

構造別の着工床面積	2024年 1～4月	2023年 同期	2023年 同期比	2022年 同期	2022年 同期比
合計	19,628	21,127	92.9%	22,337	87.9%
■ 非木造	7,267	8,010	90.7%	8,151	89.2%
■ 木造	12,360	13,117	94.2%	14,186	87.1%
■ 木造プレハブ	310	311	99.8%	292	106.1%
■ 2×4	2,206	2,090	105.5%	2,147	102.7%
■ 在来軸組	9,844	10,716	91.9%	11,747	83.8%
□ 木造率	63.0%	62.1%		63.5%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

＜参考＞非居住用建築物着工床面積

(單位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
			前年比	木造	前年比	非木造	前年比
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,920	92	318	104	3,602	91
	6	4,788	112	349	107	4,438	112
	7	4,983	122	346	101	4,637	124
	8	3,980	127	327	109	3,653	129
	9	3,589	97	354	115	3,236	95
	10	3,599	68	300	88	3,299	66
	11	3,512	94	299	102	3,213	93
	12	3,391	71	256	91	3,134	70
2023年	1	3,898	120	216	101	3,682	122
	2	3,570	96	224	100	3,346	96
	3	2,803	77	226	93	2,577	76
	4	4,804	99	306	107	4,498	98
	5	3,254	83	325	102	2,930	81
	6	3,148	66	315	90	2,834	64
	7	3,612	72	278	80	3,333	72
	8	3,523	89	332	102	3,191	87
	9	3,617	101	342	97	3,275	101
	10	4,622	128	292	97	4,330	131
	11	3,170	90	297	99	2,873	89
	12	3,426	101	254	99	3,172	101
2024年	1	3,269	84	199	92	3,071	83
	2	3,105	87	192	86	2,913	87
	3	3,242	116	212	94	3,030	118
	4	4,045	84	273	89	3,773	84
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2022年計		47,203	97	3,515	97	43,688	97
2023年計		43,447	92	3,407	97	40,041	92
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,574	106	952	97	12,621	107
	第3四半期	12,552	115	1,027	108	11,526	116
	第4四半期	10,502	76	855	93	9,646	75
2023年	第1四半期	10,271	97	666	98	9,605	97
	第2四半期	11,206	83	946	99	10,262	81
	第3四半期	10,752	86	952	93	9,799	85
	第4四半期	11,218	107	843	99	10,375	108
2024年	第1四半期	9,616	94	603	91	9,014	94

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

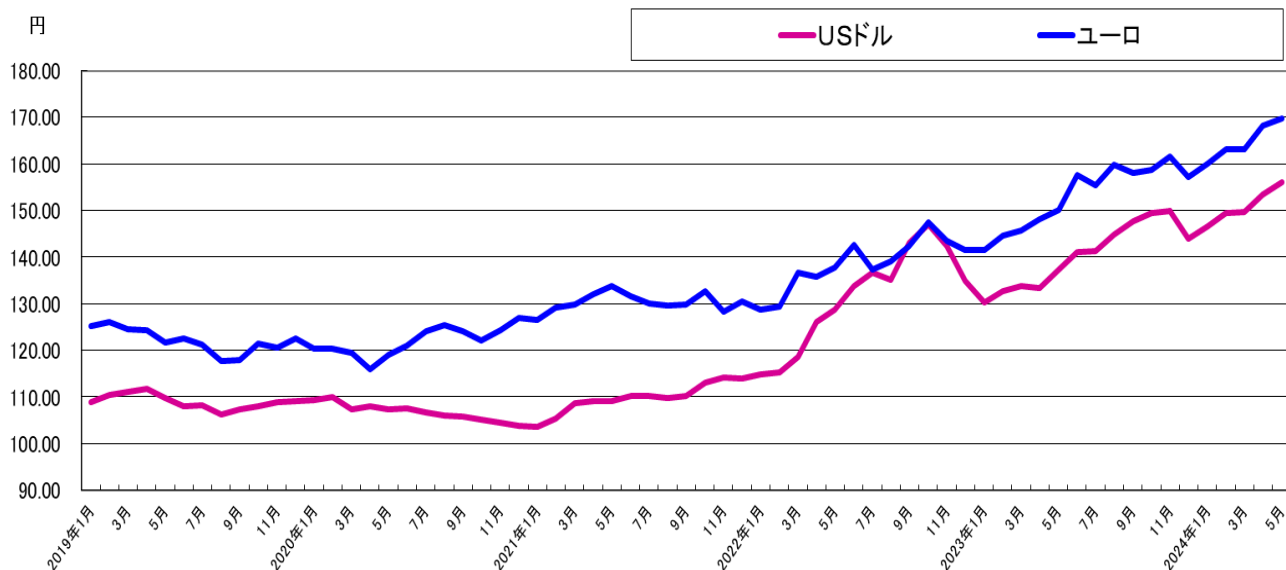
基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2023年の木材産業の倒産件数は27件（前年比208%）、負債金額は5,322百万円（同70%）
- 2024年1～4月の木材産業の倒産件数は8件（前年同期比73%）、負債金額は1,525百万円（同54%）

年・月		企業倒産状況							
		全 企 業				木材・木製品製造業			
		件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2021年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	-	0	-
	11	510	90	94,101	92	0	-	0	-
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	-	0	-
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	-	0	-
	7	494	104	84,570	118	0	-	0	-
	8	492	106	111,428	122	1	100	1,880	18,800
	9	599	119	144,871	159	1	50	45	20
	10	596	114	86,995	88	1	-	200	-
	11	581	114	115,589	123	1	-	86	-
	12	606	120	79,172	85	1	100	331	331
2023年	1	570	126	56,524	84	3	300	230	1,769
	2	577	126	96,580	136	1	-	154	-
	3	809	136	147,434	87	4	100	1,340	67
	4	610	126	203,861	251	3	150	1,122	39
	5	706	135	278,734	319	2	200	270	150
	6	770	141	150,947	12	3	-	571	-
	7	758	153	162,137	192	3	-	339	-
	8	760	154	108,377	97	2	200	140	7
	9	720	120	691,942	478	0	-	0	-
	10	793	133	308,010	354	0	-	0	-
	11	807	139	94,871	82	1	100	50	58
	12	810	134	103,228	130	5	500	1,106	334
2024年	1	701	123	79,123	140	1	33	166	72
	2	712	123	139,596	145	1	100	90	58
	3	906	112	142,252	96	2	50	108	8
	4	783	128	113,423	56	4	133	1,161	103
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2022年計		6,428	107	2,331,443	203	13	68	7,645	177
2023年計		8,690	135	2,402,645	103	27	208	5,322	70
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89
	第3四半期	1,585	110	340,869	135	2	67	1,925	802
	第4四半期	1,783	116	281,756	99	3	300	617	617
2023年	第1四半期	1,956	130	300,538	98	8	160	1,724	85
	第2四半期	2,086	134	633,542	45	8	267	1,963	64
	第3四半期	2,238	141	962,456	282	5	250	479	25
	第4四半期	2,410	135	506,109	180	6	200	1,156	187
2024年	第1四半期	2,319	119	360,971	120	4	50	364	21

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

- 2024年5月の為替相場は、1ドル156.13円、1ユーロ169.78円。



(単位:円)

年月	USドル	ユーロ
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51

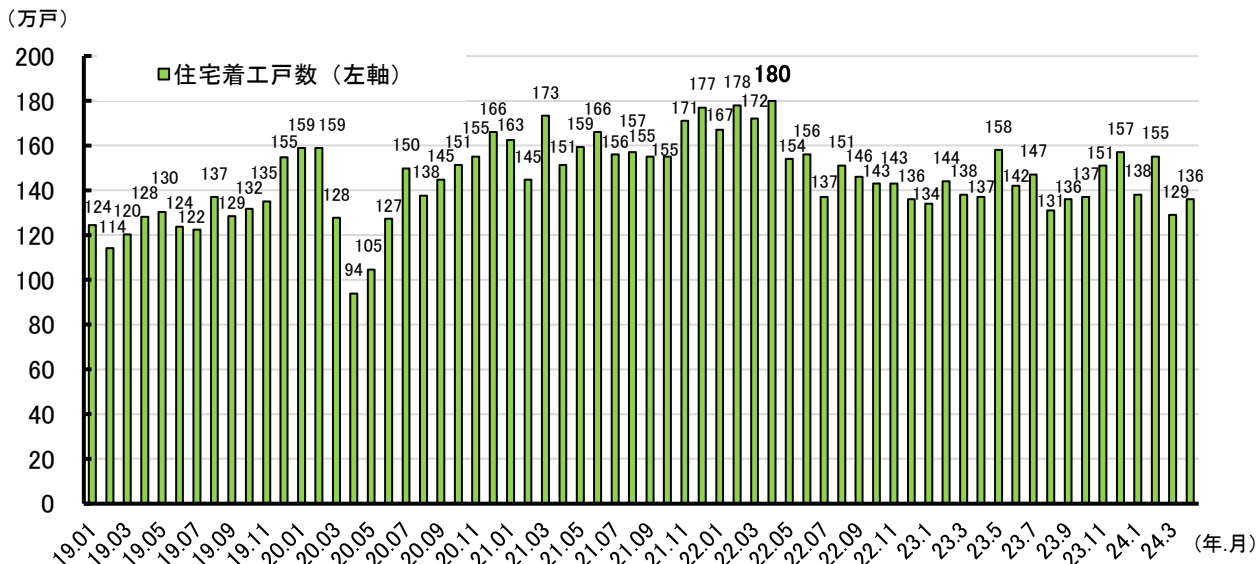
(単位:円)

年月	USドル	ユーロ
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25
8月	135.24	139.03
9月	143.14	142.32
10月	147.01	147.59
11月	142.44	143.58
12月	134.93	141.47
2023年1月	130.20	141.56
2月	132.68	144.61
3月	133.85	145.72
4月	133.33	148.04
5月	137.37	150.04
6月	141.19	157.60
7月	141.21	155.35
8月	144.77	159.84
9月	147.67	158.00
10月	149.53	158.66
11月	149.83	161.51
12月	144.07	157.12
2024年1月	146.57	159.97
2月	149.42	163.25
3月	149.63	163.24
4月	153.43	168.12
5月	156.13	169.78

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

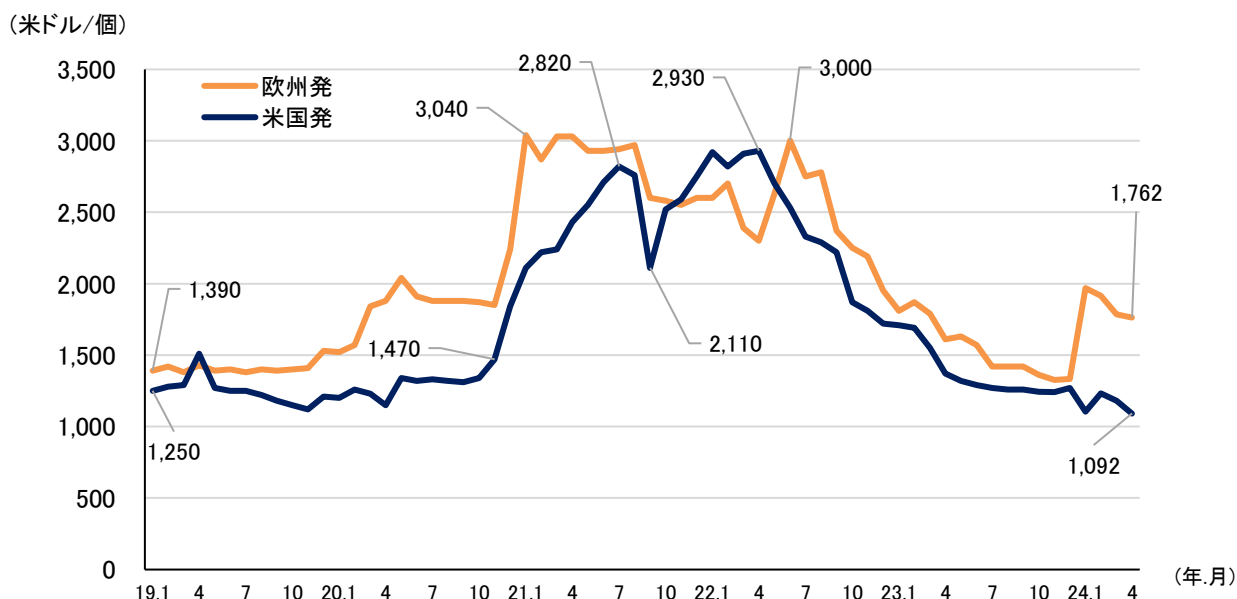
- 2024年4月の米国の住宅着工戸数（年率換算、戸建て計）は、前月比106%の約136万戸。
- 日本向けコンテナ運賃は、欧州発、米国発ともに一時期高騰していたが、2023年末時点で概ね元の水準に回復。2024年1月以降は、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発コンテナ運賃が高騰。

○米国における住宅着工戸数



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移



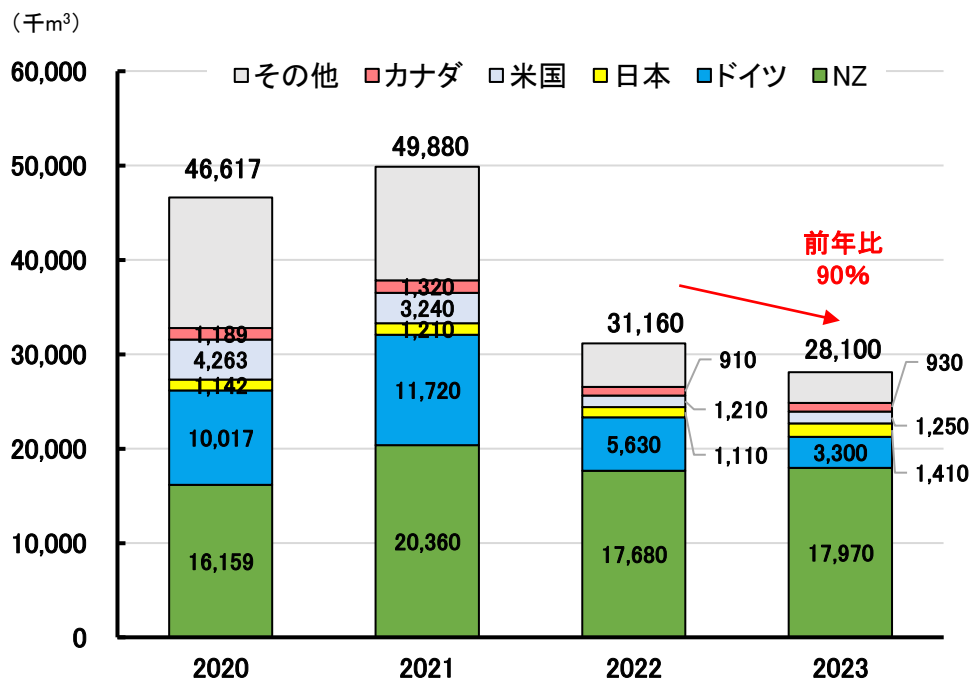
注：40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

出典：Drewry「Container Freight Rate Insight」

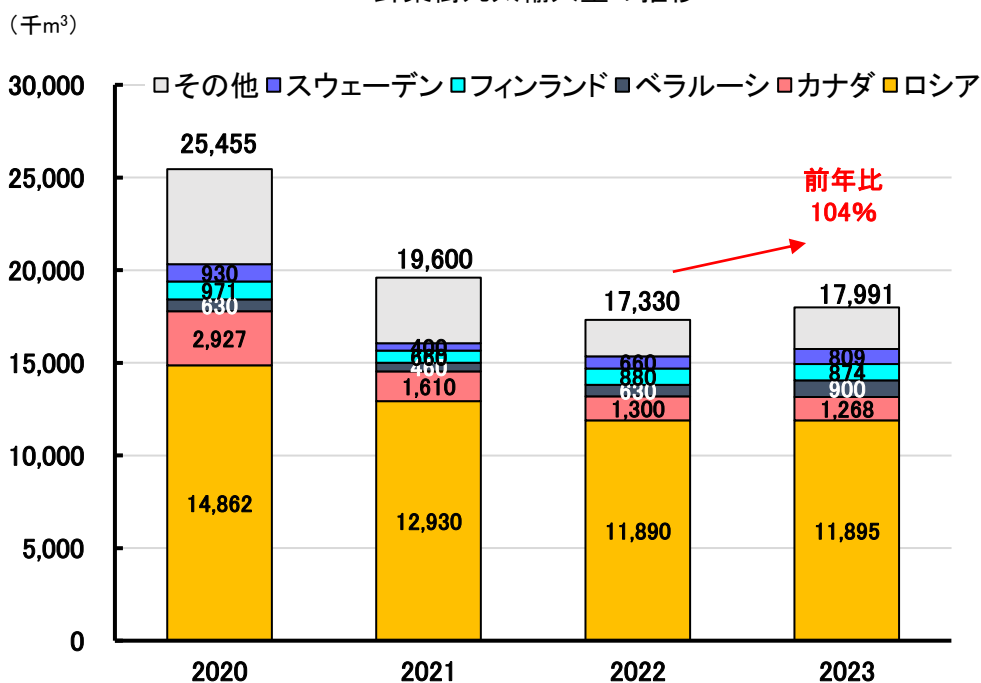
資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

- 2023年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比90%の2,810万m³。
- 同年の中国における針葉樹製材輸入量は、前年比104%の1,799万m³。

○中国の木材輸入量(2020年～2023年)



針葉樹丸太輸入量の推移

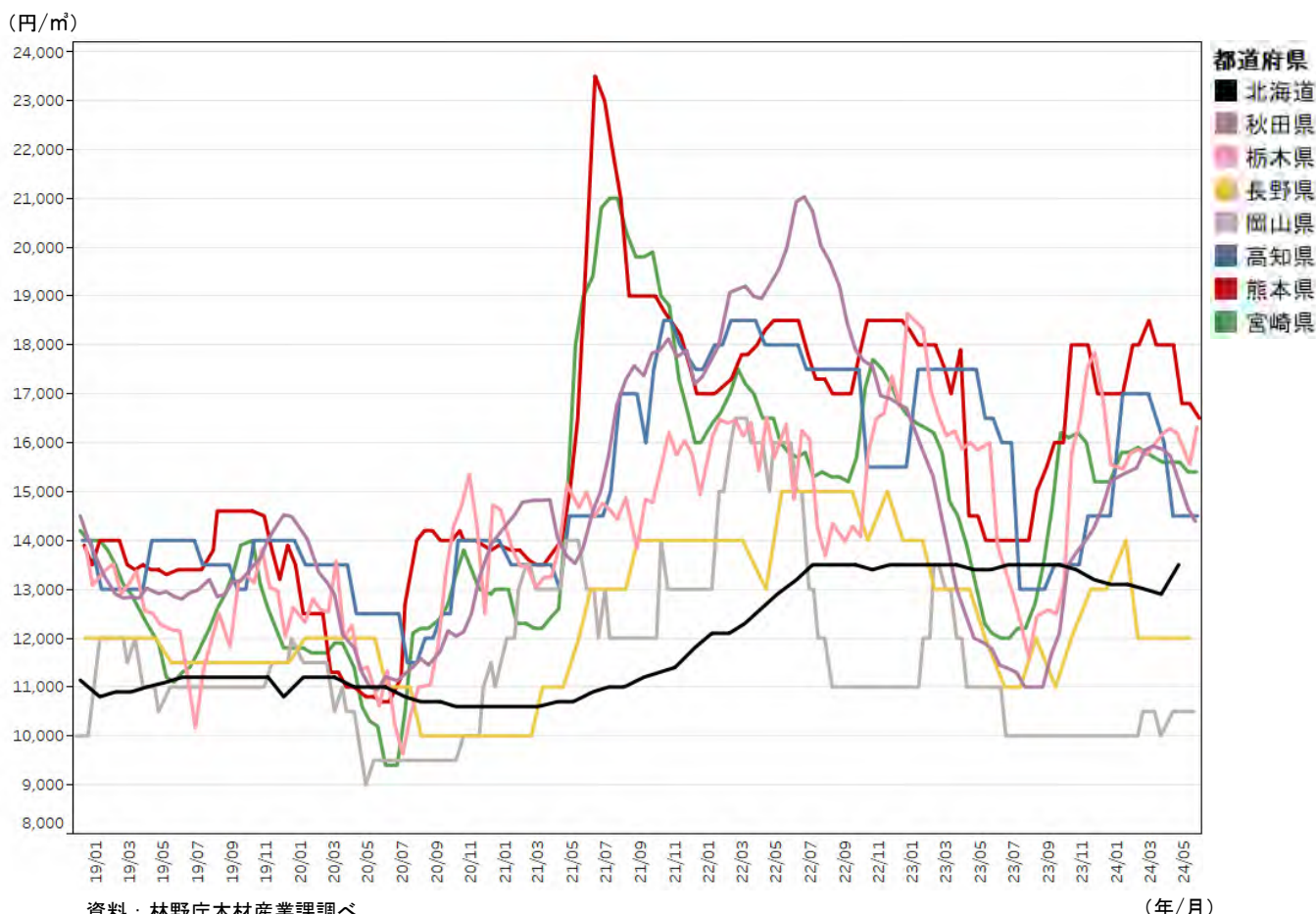


針葉樹製材輸入量の推移

資料:ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5)、Vol.27 (3) (4)、Vol.28(3)(4)を基に作成

木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、10,500円～16,500円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

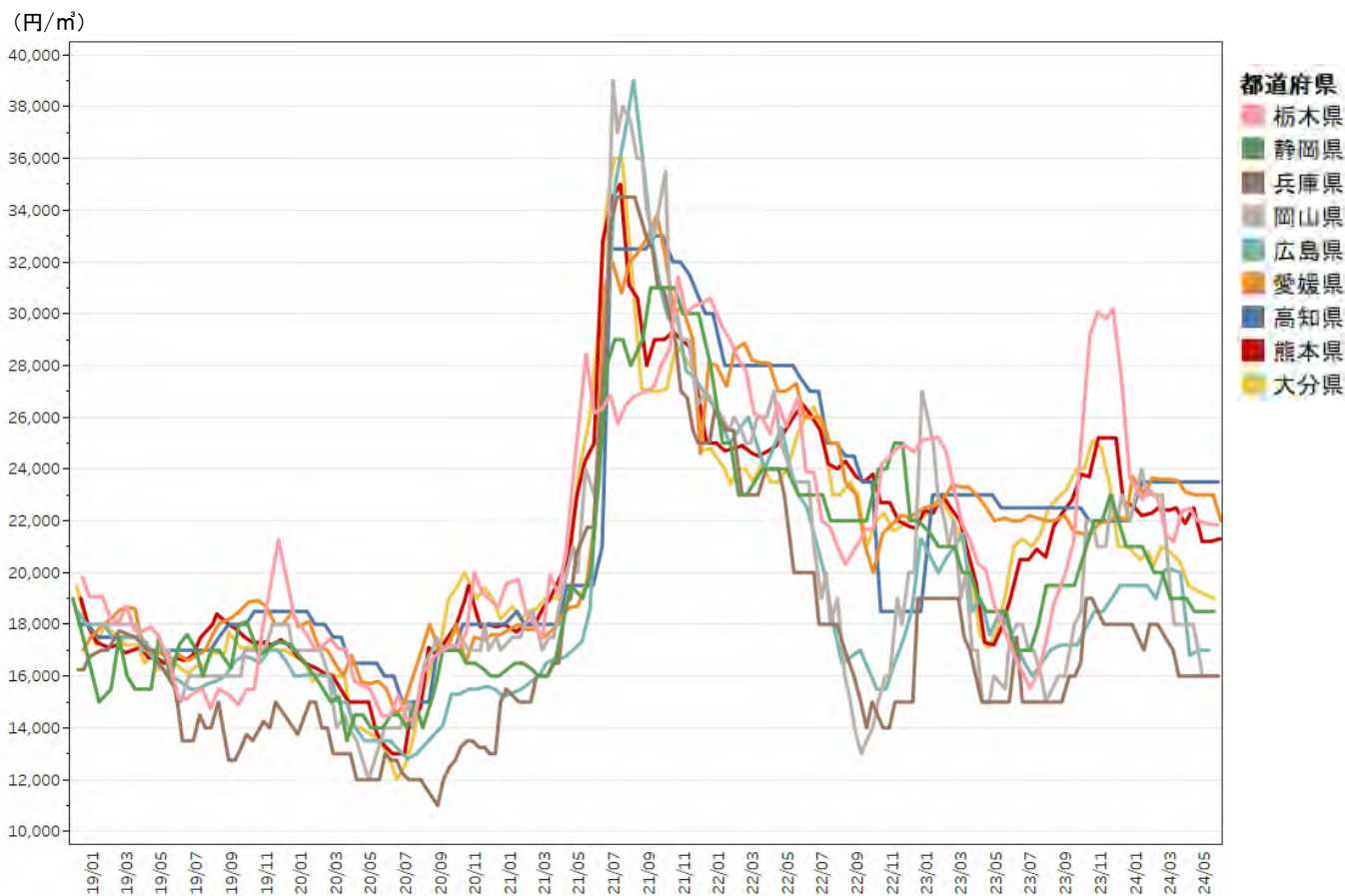
注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

都道府県	2024年直近※	前年同期	前年同期比
■ 北海道	13,500	13,400	101%
■ 秋田県	14,390	11,780	122%
■ 栃木県	16,320	16,000	102%
■ 長野県	12,000	12,000	100%
■ 岡山県	10,500	11,000	95%
■ 高知県	14,500	16,500	88%
■ 熊本県	16,500	14,000	118%
■ 宮崎県	15,400	12,100	127%

※北海道については4月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については5月の値を使用。

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、16,000円～23,500円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(年/月)

(単位：円/㎡)

都道府県	2024年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	21,840	17,650	124%
静岡県	18,500	18,500	100%
兵庫県	16,000	15,000	107%
岡山県	16,000	15,500	103%
広島県	17,000	18,500	92%
愛媛県	22,000	22,000	100%
高知県	23,500	22,500	104%
熊本県	21,300	19,000	112%
大分県	19,000	19,100	99%

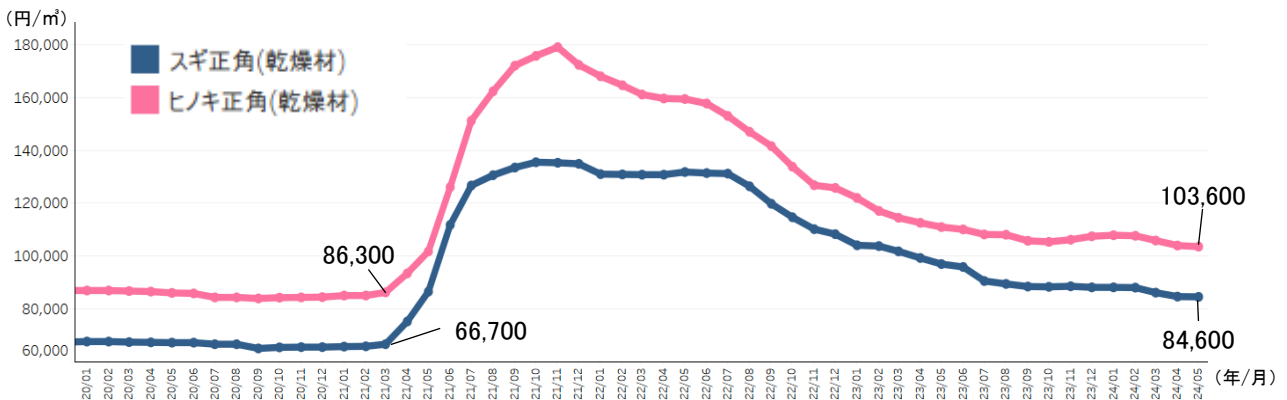
※各県5月の値を使用。

木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

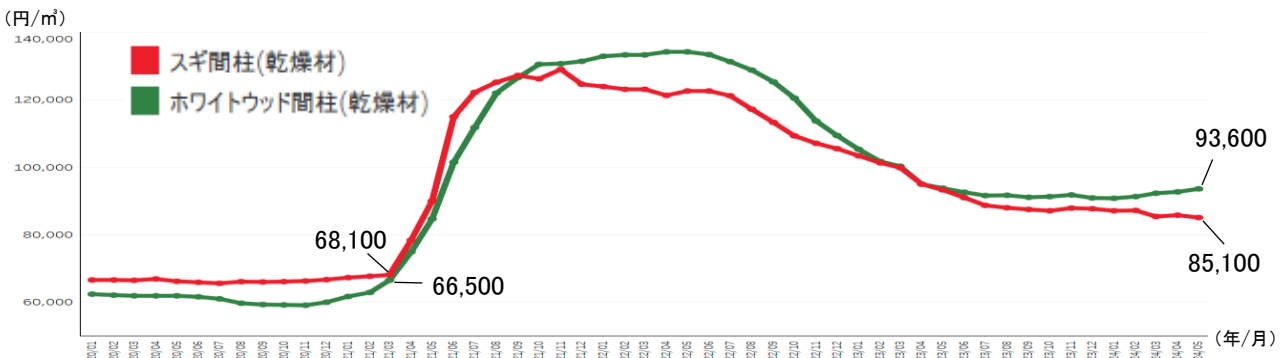
- 2024年5月の正角（乾燥材）の価格について、スギは84,600円/m³（前年同期比87%）、ヒノキは103,600円/m³（同93%）。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは85,100円/m³（前年同期比91%）、ホワイトウッドは93,600円/m³（同100%）。
- 2024年3月の針葉樹合板の価格は、1,680円/枚（前年同月比76%）。

■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

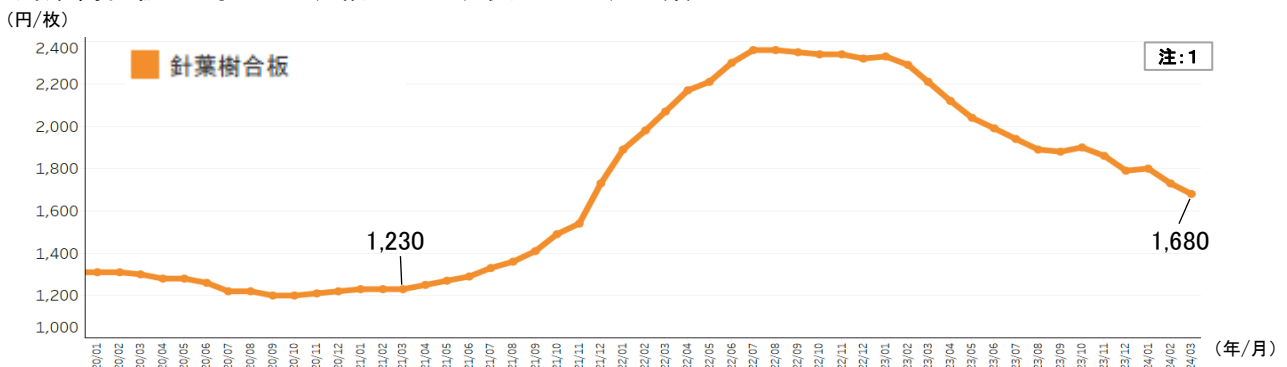
○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。

2 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。

3 2024年は「木材価格」に拠る速報値、2023年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0~28.0cm、長3.65~4.0m）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	15,500	15,400	15,400	15,300	15,300	15,300	15,200	14,400	15,100	14,900	14,900	14,900
岩手	25,700	25,700	25,600	25,500	25,400	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	14,900	14,600	14,300	14,400	14,400
岩手	25,300	25,300	24,800	23,900	23,500

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	13,100	13,100	13,100	12,700	12,200	12,200	11,400	11,400	11,100	11,100	11,100	11,100
宮城	16,400	16,400	16,400	16,400	16,100	15,900	15,300	15,000	14,800	14,800	14,800	14,800
秋田	16,100	16,000	16,000	15,900	15,900	15,800	15,900	15,600	15,200	15,200	14,900	14,900
島根	15,000	15,100	15,100	15,000	14,800	14,700	14,600	14,500	14,600	14,400	14,300	14,300

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
岩手	11,300	11,300	11,200	11,200	11,200
宮城	14,800	14,600	14,300	14,300	14,300
秋田	14,800	14,900	14,700	14,700	14,700
島根	14,300	14,400	14,200	14,200	14,100

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉			77,000			66,500			66,000			66,000
東京			53,500			x			x			x
大阪			81,500			80,400			80,400			80,400
福岡			56,400			54,700			52,800			55,700

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
千葉			66,000		
東京			x		
大阪			80,400		
福岡			65,300		

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	94,400	94,400	93,300	92,000	86,300	85,300	80,800	80,500	80,500	80,300	80,500	80,500
千葉	130,800	120,200	120,200	107,800	107,800	107,800	101,600	97,600	97,600	97,600	91,400	91,400
東京	109,800	109,800	109,800	109,400	109,400	109,100	98,500	98,400	98,400	98,500	98,500	98,500
神奈川	128,700	128,300	128,200	118,600	109,400	104,200	99,700	99,500	90,300	90,300	85,800	85,900
愛知	106,900	105,700	104,300	98,500	98,400	95,700	93,900	93,900	93,900	92,500	91,200	91,200
大阪	99,700	99,000	93,600	93,600	93,600	93,600	93,600	88,700	88,700	88,700	88,700	83,800
兵庫	111,600	111,600	111,600	102,200	98,200	98,100	94,100	94,100	94,100	94,100	91,100	91,100
福岡	102,800	102,800	98,300	94,500	92,600	90,700	88,000	86,200	83,500	83,500	85,200	85,200

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
埼玉	80,500	80,500	75,800	77,600	77,500
千葉	91,400	91,400	89,400	89,000	89,000
東京	98,500	98,200	98,200	93,000	92,800
神奈川	86,100	86,400	86,400	85,500	85,400
愛知	92,500	92,500	88,400	87,000	87,000
大阪	83,800	83,200	83,200	78,300	78,300
兵庫	89,000	89,000	87,400	86,500	88,000
福岡	85,200	85,200	83,300	83,300	83,300

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉県			81,100			78,900			75,600			75,600
東京			x			x			x			x
愛知			93,500			92,200			89,300			89,300
大阪			78,500			79,600			74,700			74,700
兵庫			95,500			90,000			87,800			89,800
福岡			82,500			75,100			69,600			76,500

単位：円/m³

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
千葉県			75,600		
東京			x		
愛知			89,300		
大阪			82,000		
兵庫			89,800		
福岡			88,800		

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	108,400	108,400	107,200	106,200	101,900	100,900	96,800	96,800	96,800	96,800	98,400	103,500
千葉県	150,200	146,800	146,800	x	x	x	114,400	114,400	113,300	113,300	104,500	104,500
東京	153,200	142,700	142,400	142,000	142,000	142,000	141,900	141,800	131,400	131,400	131,400	131,400
神奈川	138,900	133,700	133,600	131,800	131,500	129,300	129,300	129,100	129,100	128,800	130,700	134,300
愛知	114,900	109,800	107,200	105,600	105,400	102,900	101,400	101,400	100,900	98,600	96,800	96,800
大阪	118,900	110,700	104,400	104,400	104,400	104,400	102,500	102,100	102,100	102,100	103,300	103,300
兵庫	112,600	112,600	112,000	107,400	102,900	101,600	101,600	101,600	97,000	97,000	101,600	101,600

単位：円/m³

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
埼玉県	103,500	103,500	99,000	100,700	100,700
千葉県	105,600	105,600	104,500	104,500	104,500
東京	131,400	130,200	130,200	120,100	120,000
神奈川	134,600	134,600	134,600	134,400	134,200
愛知	99,100	99,100	96,500	94,200	94,200
大阪	103,600	103,300	102,900	102,100	100,300
兵庫	101,600	101,600	99,700	99,100	99,400

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道			139,800			128,200			125,700			125,700
埼玉県			141,400			129,900			133,600			117,600
千葉県			131,200			116,300			111,600			106,600
東京			148,100			147,500			147,500			114,500
神奈川			138,300			135,500			129,600			129,600
愛知			132,000			138,100			129,500			129,500
大阪			132,000			132,000			132,000			132,000
兵庫			138,300			131,700			131,700			131,700

単位：円/m³

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道			125,700		
埼玉県			117,600		
千葉県			106,900		
東京			106,800		
神奈川			129,600		
愛知			129,500		
大阪			132,000		
兵庫			131,700		

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	95,000	92,900	92,200	87,100	86,200	85,900	80,300	77,900	77,900	77,900	80,900	80,900
千葉県	102,400	98,700	96,200	85,500	82,100	77,900	76,900	76,900	76,800	76,800	79,400	79,400
東京都	96,800	96,700	96,500	89,400	89,400	83,200	82,300	82,300	82,000	84,100	84,100	83,900
神奈川県	111,200	107,900	106,700	106,100	106,100	102,700	100,400	99,200	94,700	94,700	92,500	92,500
愛知県	97,700	93,700	93,700	99,500	99,500	95,500	95,300	95,300	95,300	91,900	88,500	88,500
大阪府	95,700	95,700	94,600	94,600	93,500	93,500	89,100	89,100	89,100	89,100	89,100	84,700
兵庫県	110,500	110,500	105,200	99,600	99,600	99,500	94,200	94,100	94,100	94,100	93,700	93,700
広島県	124,700	121,500	121,000	120,400	113,500	109,200	109,200	109,000	107,400	106,700	106,400	106,200
福岡県	104,500	104,500	103,700	95,800	95,100	94,900	93,700	93,000	92,200	92,000	92,700	92,700

単位：円/m³

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
埼玉県	79,700	79,400	76,900	79,200	78,700
千葉県	78,200	78,200	78,100	78,000	78,000
東京都	83,900	83,900	83,900	83,900	81,600
神奈川県	92,500	93,100	93,100	91,900	91,900
愛知県	88,300	88,300	87,000	87,000	83,600
大阪府	84,700	84,700	84,700	84,700	82,100
兵庫県	93,700	93,700	93,700	93,700	93,700
広島県	106,200	107,100	107,400	107,400	107,400
福岡県	92,700	92,700	85,900	85,900	85,600

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	94,700	93,200	91,600	87,600	84,200	84,100	83,800	84,500	84,500	84,500	84,500	84,500
千葉県	125,000	122,600	121,700	100,500	100,200	99,900	94,500	94,500	94,300	94,300	96,400	96,400
東京都	121,200	120,000	119,100	118,200	117,400	111,500	111,500	111,500	111,500	111,500	111,500	111,500
神奈川県	118,700	113,200	110,600	109,900	109,900	107,600	107,600	107,600	107,600	109,900	109,900	110,400
愛知県	97,400	91,000	90,300	89,300	86,700	85,300	84,300	84,300	82,000	84,300	83,600	83,600
大阪府	93,500	93,100	92,900	87,700	87,600	87,700	87,700	87,700	87,400	87,400	87,400	82,500
兵庫県	104,500	101,600	98,800	90,600	90,600	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000
広島県	112,300	105,400	102,800	102,800	100,500	99,400	99,400	99,400	99,400	93,800	93,800	93,800

単位：円/m³

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
埼玉県	84,500	84,500	83,800	85,400	85,400
千葉県	96,500	96,500	96,500	96,000	96,000
東京都	111,500	111,900	112,300	112,300	112,800
神奈川県	110,400	112,800	112,800	112,800	117,400
愛知県	83,100	83,400	83,400	84,700	85,200
大阪府	82,500	82,500	87,400	87,400	87,400
兵庫県	88,000	88,000	88,000	88,000	89,100
広島県	92,600	94,200	96,400	96,500	96,500

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋田県	3,500	3,400	2,900	2,800	2,700	2,500	2,600	2,600	2,500	2,600	2,600	2,600
宮崎県	3,500	3,500	3,100	2,700	2,600	2,600	2,500	2,500	2,400	2,400	2,400	2,400

単位：円/本

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
秋田県	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
宮崎県	2,600	2,500	2,500	2,500	2,500

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山県	3,600	3,400	3,100	2,900	2,900	2,900	2,900	2,800	2,800	2,800	2,900	2,900

単位：円/本

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
岡山県	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県			2,240			2,100			2,050			
東京都			2,300			1,990			1,890			
大阪府			2,040			1,920			1,740			

単位：円/枚

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
埼玉県			1,830		
東京都			1,690		
大阪府			1,560		

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○チップ用丸太（針葉樹）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	7,400	7,400	7,400	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,700	7,700	7,700
青森	7,000	7,000	7,000	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600
岩手	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,400	7,500
宮城	6,000	6,000	6,000	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
秋田	7,000	7,000	7,000	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,800	6,100	5,900	6,100	5,900	6,000	6,600	6,800	6,800	8,000	6,200	6,500
栃木	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300
山梨	7,700	8,800	8,800	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400
長野	7,200	7,200	7,300	7,200	7,200	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400
京都	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,400
島根	9,400	8,500	9,500	9,300	9,800	9,900	10,100	10,000	10,300	10,100	10,100	10,000
広島	6,100	5,900	5,700	5,900	6,700	6,700	6,700	6,700	7,000	7,200	7,100	7,400
高知	5,600	5,600	5,600	5,800	5,800	5,700	5,800	5,800	5,600	5,600	5,400	5,100
熊本	8,200	9,100	8,400	10,700	8,800	10,000	9,100	9,100	9,600	8,700	9,300	10,900
宮崎	8,000	8,000	8,100	8,100	8,100	8,000	8,100	8,200	8,300	8,300	8,300	8,300
鹿児島	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	7,900	7,900	7,900	8,000	8,100
青森	7,600	7,600	7,600	7,700	7,700
岩手	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600
宮城	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
秋田	7,300	7,800	7,800	7,800	6,900
山形	4,200	6,100	5,700	5,700	5,700
福島	6,600	6,600	6,800	6,400	6,400
栃木	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300
山梨	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400
長野	7,400	7,500	7,500	7,600	7,600
京都	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200
兵庫	7,400	7,400	7,400	7,400	7,100
島根	10,100	10,300	9,900	9,100	11,500
広島	7,400	7,200	7,200	7,200	7,100
高知	5,900	5,900	5,800	5,700	5,500
熊本	10,900	9,500	9,500	10,000	9,500
宮崎	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400
鹿児島	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200

○チップ用丸太（広葉樹）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100
青森	12,100	12,100	12,100	11,900	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
岩手	11,400	11,400	11,400	10,600	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,900	11,000
宮城	9,000	9,000	9,000	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300
秋田	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,700	12,700
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	9,000	9,600	9,000	9,000	8,700	9,000	8,900	9,200	9,600	9,600	9,200
山梨	7,500	7,500	7,500	7,800	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900
島根	10,700	10,700	10,800	10,800	11,100	11,200	11,200	11,300	11,600	11,300	11,300	11,000
広島	6,000	6,000	6,100	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700
熊本	8,700	9,000	8,900	9,100	9,200	9,400	9,600	9,900	9,600	9,600	9,300	9,400
宮崎	8,400	8,700	8,600	8,200	8,900	9,100	8,700	8,700	8,900	9,200	9,200	9,300
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・2024年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	10,200	10,200	10,200	10,300	10,300
青森	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
岩手	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200
宮城	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300
秋田	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	9,200	8,900	9,200	9,600	9,400
山梨	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900
島根	11,300	11,300	11,600	11,300	11,300
広島	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700
熊本	8,700	9,300	9,600	9,400	9,200
宮崎	8,900	8,800	9,100	9,100	8,900
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

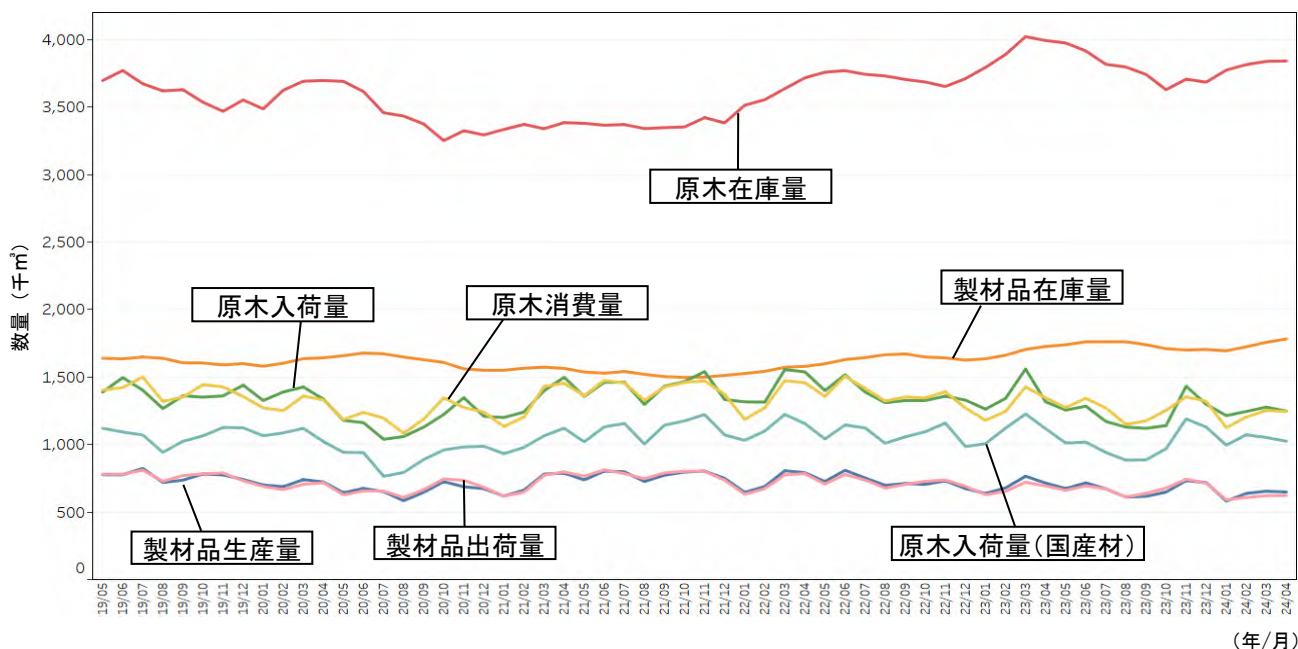
資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

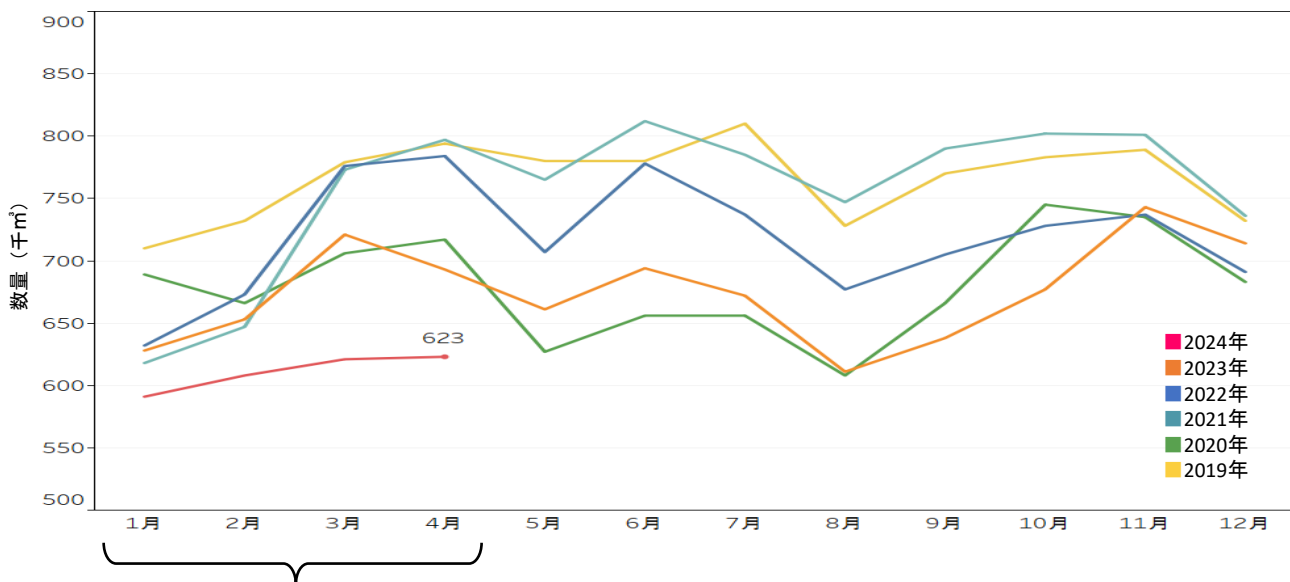
注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

木材需給情報-1 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2024年1～4月の原木の入荷量は、4,983千m³（2019年比 84%）。
- 同様に製材品の出荷量は、2,443千m³（2019年比 81%）。



○製材品出荷量の月別推移（全国）



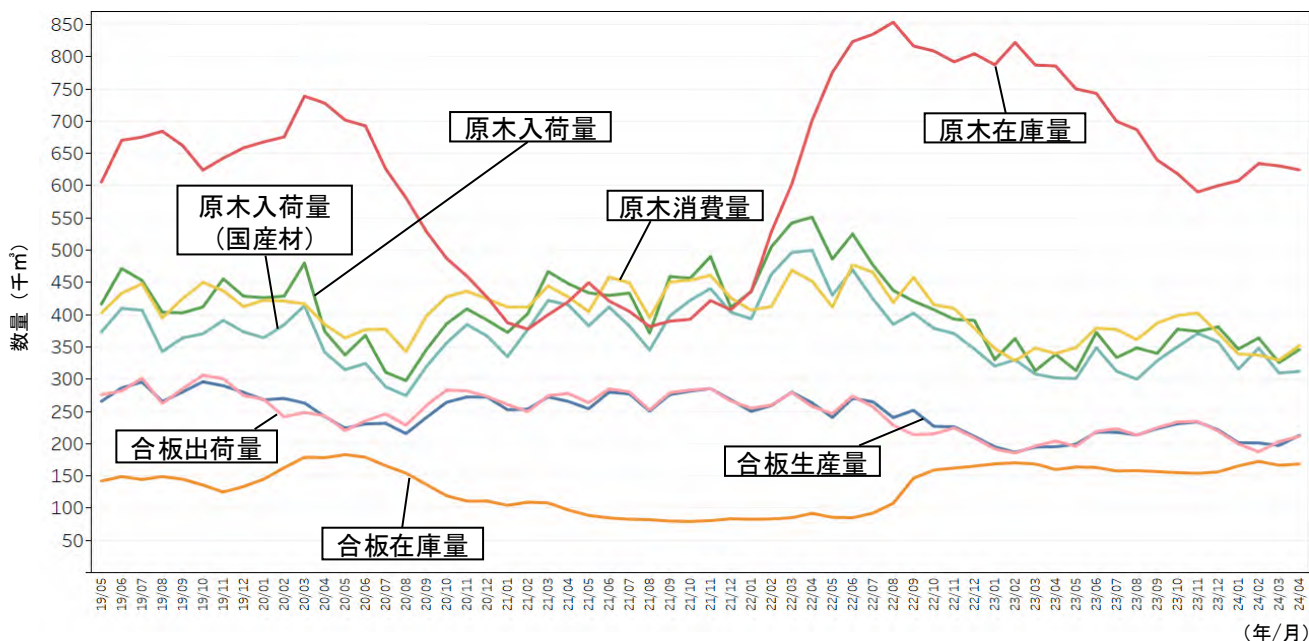
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1～4月原木入荷量 合計(千m ³)	5,910	5,477	5,338	5,723	5,479	4,983
2019年との比較※	—	93%	90%	97%	93%	84%
1～4月出荷量 合計(千m ³)	3,015	2,778	2,835	2,865	2,695	2,443
2019年との比較※	—	92%	94%	95%	89%	81%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

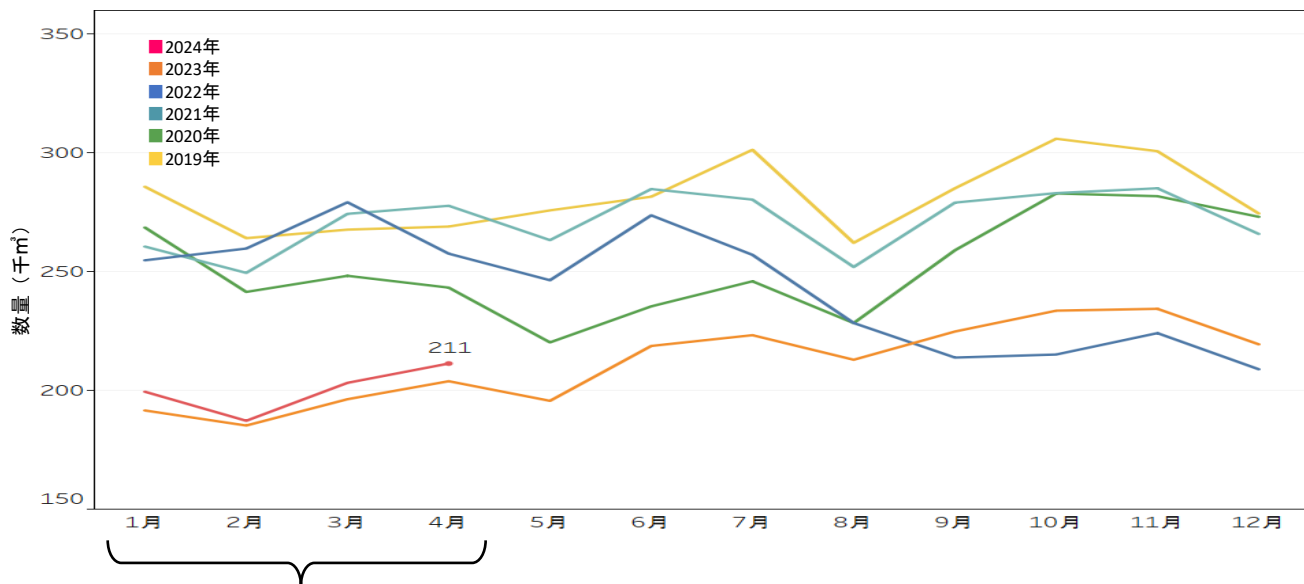
資料：農林水産省「製材統計」

木材需給情報-2 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2024年1～4月の原木の入荷量は、1,382千 m^3 （2019年比 80%）。
- 同様に合板の出荷量は、801千 m^3 （2019年比 74%）。



○合板出荷量の月別推移（全国）

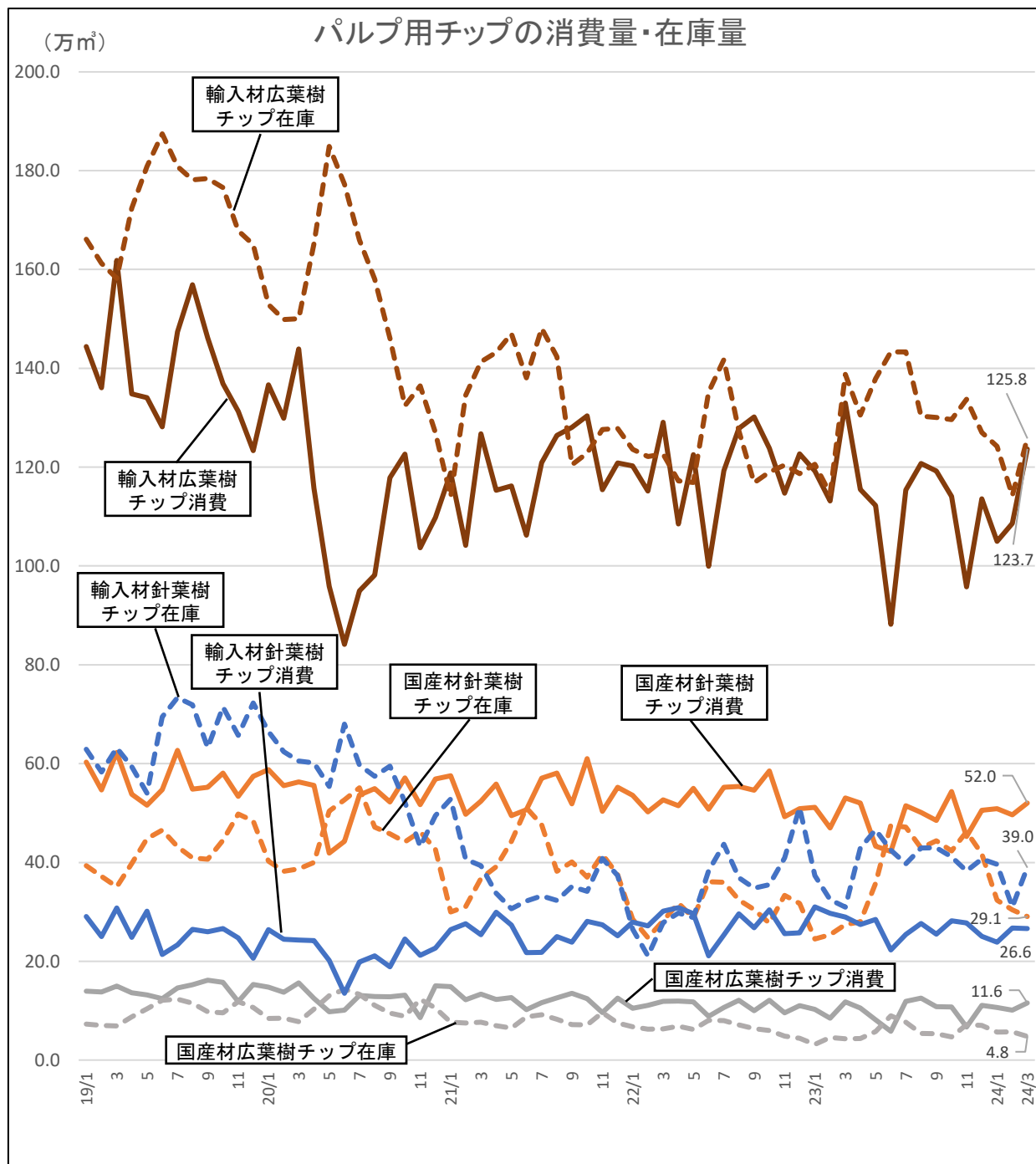


	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1～4月原木入荷量 合計(千 m^3)	1,726	1,709	1,688	2,034	1,344	1,382
2019年との比較※	—	99%	98%	118%	78%	80%
1～4月出荷量 合計(千 m^3)	1,087	1,002	1,062	1,051	777	801
2019年との比較※	—	92%	98%	97%	72%	74%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「合板統計」

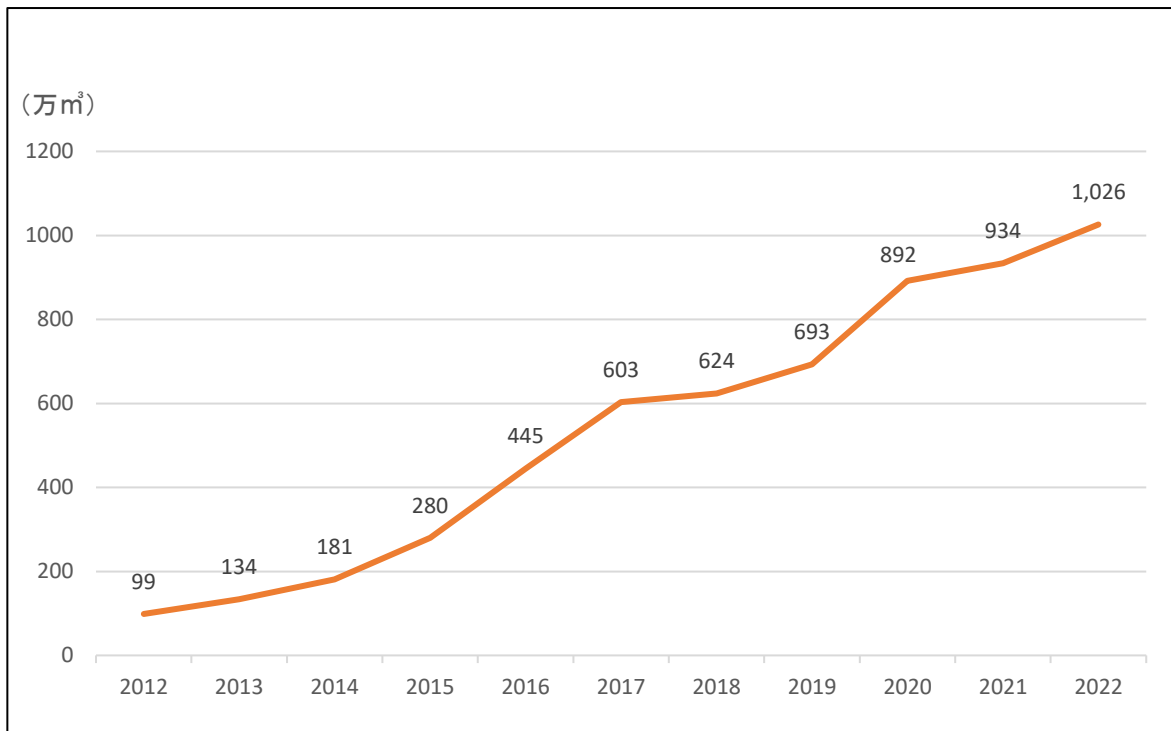
- パルプ用チップの消費について、2024年3月の輸入材広葉樹チップの消費量は123.7万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は52.0万 m^3 となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約10倍)。
- 2024年4月の紙の生産高は85万トン。板紙の生産高は96万トンとなっている。

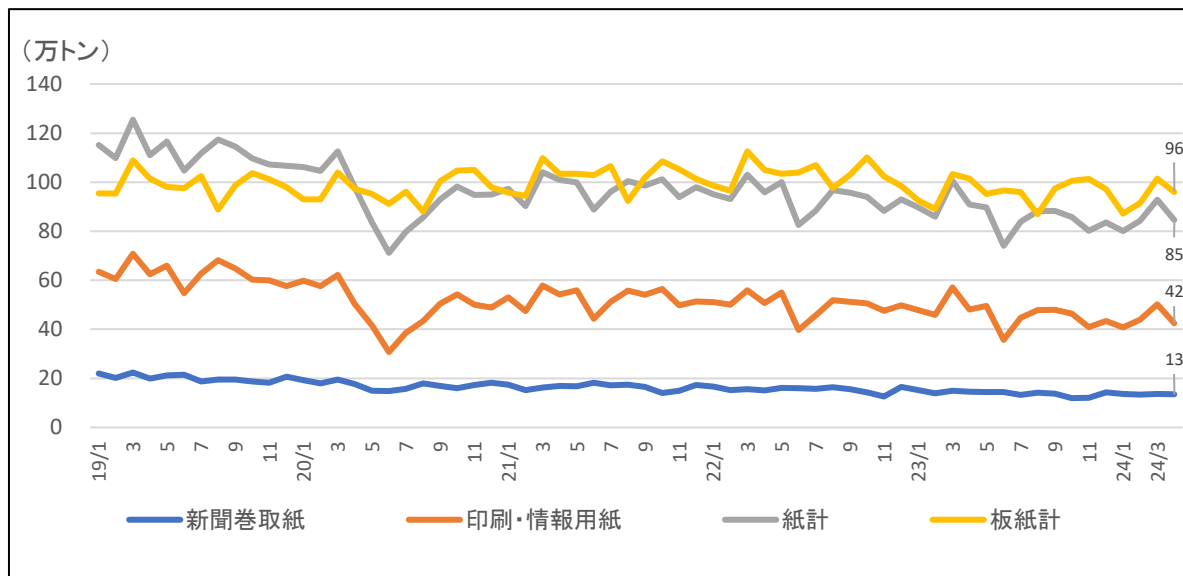
○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)

注：利用量には輸出量は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

木材需給情報-5 素材生産量（2022年）

- 2022年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量の合計は2,208万m³。

単位：千m³

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	22,082	12,937	4,912	4,233	20,386	13,238	1,696
北 海 道	3,335	1,707	706	922	2,774	75	561
青 森	979	361	386	232	942	827	37
岩 手	1,461	470	615	376	1,278	788	183
宮 城	685	218	302	165	637	595	48
秋 田	1,223	524	524	175	1,160	1,112	63
山 形	364	255	68	41	349	339	15
福 島	950	539	81	330	820	668	130
茨 城	455	387	8	60	421	330	34
栃 木	577	463	10	104	523	407	54
群 馬	213	149	27	37	196	145	17
埼 玉	x	30	x	x	42	29	x
千 葉	91	25	8	58	65	48	26
東 京	49	x	x	19	x	30	x
神 奈 川	8	8	0	-	8	5	0
新 潟	156	101	38	17	153	153	3
富 山	70	34	20	16	66	60	4
石 川	113	51	43	19	103	93	10
福 井	139	61	39	39	135	121	4
山 梨	141	19	69	53	122	29	19
長 野	467	189	231	47	461	99	6
岐 阜	391	258	69	64	381	221	10
静 岡	332	191	119	22	330	156	2
愛 知	157	100	x	x	151	82	6
三 重	327	191	76	60	319	190	8
滋 賀	65	14	15	36	53	34	12
京 都	171	46	37	88	149	103	22
大 阪	22	8	-	14	19	11	3
兵 庫	378	91	144	143	364	249	14
奈 良	121	94	9	18	119	70	2
和 歌 山	188	145	29	14	188	124	-
鳥 取	186	65	50	71	163	128	23
島 根	339	102	x	x	296	205	43
岡 山	406	333	28	45	382	131	24
広 島	331	121	76	134	235	122	96
山 口	246	125	x	x	224	151	22
徳 島	307	161	x	x	299	242	8
香 川	24	5	-	19	19	4	5
愛 媛	563	510	x	x	561	343	2
高 知	592	436	x	x	588	255	4
福 岡	186	155	9	22	179	129	7
佐 賀	148	116	6	26	138	83	10
長 崎	129	75	x	x	109	55	20
熊 本	957	744	125	88	935	720	22
大 分	1,198	889	288	21	1,194	1,018	4
宮 崎	2,031	1,869	96	66	2,011	1,878	20
鹿 児 島	743	483	145	115	679	581	64
沖 縄	x	x	-	x	x	-	x

資料：農林水産省「令和4年木材統計」（2023年6月30日公表）

- 統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値（全国）と内訳（都道府県別）の計が一致しない場合がある。
- 「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの
- 「0」：単位に満たないもの（例：0.4千m³ → 0千m³）、「-」：事実のないもの

木材需給情報-6 木材生産の産出額（2022年）

- 2022年の都道府県別木材生産の産出額の合計は2,928億円。

単位：1,000万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	3,843	3,335	53	-	3	3,231	507	-
青森	1,132	1,093	924	0	49	76	38	-
岩手	2,011	1,803	951	0	209	642	193	-
宮城	764	732	688	4	26	13	30	2
秋田	1,665	1,605	1,554	0	9	31	60	-
山形	497	485	466	0	3	16	12	-
福島	1,016	930	704	131	34	61	85	-
茨城	606	583	396	185	1	0	22	0
栃木	911	856	613	228	3	7	46	7
群馬	278	262	186	44	4	27	15	-
埼玉	x	47	33	12	0	1	x	-
千葉	81	57	44	9	1	2	21	3
東京	40	x	22	13	x	1	x	-
神奈川	13	13	7	6	-	-	0	-
新潟	212	209	209	0	0	0	3	0
富山	80	77	68	2	x	4	4	-
石川	141	131	111	4	x	0	10	-
福井	142	139	123	14	1	0	4	-
山梨	163	142	35	21	18	56	11	-
長野	787	771	113	139	50	466	8	-
岐阜	672	659	336	305	4	11	12	-
静岡	589	588	202	383	0	2	1	-
愛知	224	218	94	104	x	18	6	-
三重	529	522	269	252	1	-	6	-
滋賀	62	50	27	19	1	-	11	1
京都	167	144	96	46	0	0	21	2
大阪	17	14	7	6	1	-	3	-
兵庫	397	382	231	147	0	0	13	0
奈良	200	197	93	105	-	-	2	0
和歌山	229	227	133	94	1	-	-	2
鳥取	195	177	134	39	4	0	18	-
島根	411	374	237	115	15	0	37	0
岡山	590	570	132	433	2	0	15	4
広島	446	392	163	215	14	0	54	-
山口	385	370	220	148	3	-	14	1
徳島	357	353	255	98	0	-	4	0
香川	26	23	4	11	8	-	2	0
愛媛	805	803	407	396	0	-	1	0
高知	859	854	302	508	0	-	2	1
福岡	274	269	182	82	1	2	5	0
佐賀	206	198	100	98	0	-	7	1
長崎	159	145	66	79	-	-	14	-
熊本	1,599	1,578	1,127	451	0	-	15	5
大分	1,604	1,591	1,319	272	0	-	3	4
宮崎	2,828	2,816	2,547	262	6	-	13	-
鹿児島	1,003	941	762	177	1	0	49	13
沖縄	x	x	-	-	-	-	x	-
合計	29,282	27,763	16,745	5,657	477	4,666	1,417	47

資料：農林水産省「令和4年林業産出額」

注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場に直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額、薪炭生産におけるまきの産出額、林野副産物採取における木ろう及び生うるしの産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。